

令和8年大網白里市議会第1回定例会予算特別委員会会議録

日時 令和8年3月9日（月曜日）午前9時開会

場所 本庁舎 3階 第1会議室

出席委員（8名）

小金井 勉	委員 長	猪 崎 紀 人	副委員長
金 森 浩 二	委 員	高 野 祐 二	委 員
輪 島 美津江	委 員	上 代 和 利	委 員
北 田 宏 彦	委 員	黒 須 俊 隆	委 員

出席説明員

市 長	金 坂 昌 典		
財 政 課 長	森 川 裕 之	財 政 課 副 課 長	山 本 卓 也
財 政 課 副 主 幹 兼 契 約 管 財 班 長	小 林 貴 大	財 政 課 主 査 兼 財 政 班 長	加藤岡 大 祐
財 政 課 副 主 査	三 浦 雅 人		
参 事（総務課長 兼 契 約 管 財 班 長）	田 邊 哲 也	総 務 課 副 課 長 兼 選 挙 管 理 委 員 会 長 兼 書 記 主 査 兼 情 報 政 策 ・ 業 務 改 革 推 進 班 長	高 橋 和 也
総 務 課 主 査 兼 行 政 班 長	秋田谷 知 則		小 倉 博 明
総 務 課 主 査 兼 人 事 班 長	猪 野 一 洋		
秘 書 広 報 課 長	古 内 晃 浩	秘 書 広 報 課 副 課 長 兼 秘 書 広 報 班 長	山 田 直 美
企 画 政 策 課 長	飯 高 謙 一	企 画 政 策 課 副 課 長	久 保 崇
企 画 政 策 課 主 査 兼 政 策 推 進 班 長	齋 藤 友 康	企 画 政 策 課 主 査	漆 島 佳 太 郎
安 全 対 策 課 長	石 井 一 正	安 全 対 策 課 副 課 長	菊 池 有 輔
安 全 対 策 課 主 査 兼 生 活 安 全 班 長	石 橋 恭 子	安 全 対 策 課 主 査 兼 消 防 防 災 班 長	内 山 博 史
税 務 課 長	板 倉 洋 和	税 務 課 副 課 長	内 山 貴 浩
税 務 課 主 査 兼 資 産 税 班 長	松 本 行 正	税 務 課 主 査 兼 市 民 税 班 長	石 田 定 之
税 務 課 主 査 兼 収 入 税 班 長	神 沢 秀 樹	税 務 課 主 査 兼 滞 納 整 理 班 長	五十嵐 絢

事務局職員出席者

議会事務局長 鵜澤 康 治

副 主 幹 松 本 剣 児

主 任 書 記 小笠原 勇

議事日程

第1 開会

第2 委員長挨拶

第3 新年度予算の概要説明

第4 審査事項

令和8年度各会計歳入歳出予算について

第5 散会

◎開会の宣告

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 皆様おはようございます。

ただいまから予算特別委員会を開会いたします。

本日から来年度予算の集中審議となります。どうぞよろしくお願いいたします。

（午前 8時58分）

◎委員長挨拶

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 続きまして、次第の2、委員長挨拶、委員長、お願いいたします。

○委員長（小金井 勉委員長） 皆さんおはようございます。

皆様のご協力をいただきながら円滑な委員会運営に努めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日の出席委員数は8名であり、委員会条例第14条の規定による定足数に達しておりますので会議は成立いたします。

続いて、委員会審査における確認事項をいくつか申し上げます。

本日から3日間にわたり審査に当たりますが、日程についてはさきに決定したとおりであります。また、審査期間中は財政課長に同席をお願いしております。審査に当たっては日程に従って担当課からの説明を受け、必要に応じて質疑を行いながら順次進めてまいります。

なお、質疑の際は必ず挙手の上、委員長の許可を求めてからマイクを使用して行うようにしてください。

質疑については明確な答弁を得るため、なるべく一問一答方式でお願いいたします。

担当課が退席した後、審査経過を踏まえ委員会審査報告の取りまとめを行うことといたします。

必要に応じて休憩を挟みますが、審査の工程はこの繰り返しとなります。

最終日については各課等の審査を終了した後、令和8年度予算案に対する審査結果として会計ごとに採決を行います。

以上の内容となりますが、本委員会の審査が順調に進み日程のとおり終了できますよう各委員のご協力を重ねてお願い申し上げます。

なお、審査の進捗によって審査時刻の繰上げ、繰下げ等を行います。なるべく予定どおり進められるよう委員の皆様のご協力をお願いしたいと思います。

次に、傍聴者はいますか。

（「おりません」と呼ぶ者あり）

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、次に進めさせていただきます。

◎新年度予算の概要説明

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 続いて、次第の3、新年度予算の概要説明。

委員長、お願いいたします。

○委員長（小金井 勉委員長） はじめに市長から新年度予算の概要説明を求められておりますので、入室させてください。

（市長 入室）

○委員長（小金井 勉委員長） 金坂市長、ご苦労さまでございます。

市長から新年度予算の概要説明をお願いいたします。

金坂市長。

○金坂昌典市長 皆さんおはようございます。

予算特別委員会の開会に当たり、私から令和8年度当初予算案の概要につきましてご説明を申し上げます。

それでは、お手元の資料、令和8年度当初予算の概要により説明をさせていただきます。

資料の1ページをお開きください。

令和8年度の当初予算編成に当たっては、依然として厳しい財政状況を踏まえ、持続可能な財政運営に向けた取組を基本とし、全庁一丸となって歳入歳出両面にわたる徹底した見直しを行いました。その一方で喫緊に取り組むべき重要な政策課題については重要政策推進枠として財源の範囲内で予算を重点化し、めり張りをつけた予算編成を行いました。

その結果、一般会計の予算規模は前年度比5.2パーセント増で過去最大であった前年度予算を9億7,000万円更新する194億7,000万円となりました。

目的別歳出予算では、小・中学校の学習用端末一斉更新や小・中学校アリーナの照明設備LED化の実施により教育費が増加したほか、生活保護扶助費や障害者福祉サービス費の増加に伴い民生費が増加いたしました。

性質別歳出予算では、小・中学校の学習用端末一斉更新の実施やふるさと納税に係る経費

の増加により物件費が増加をしたほか、補助費等が増加をいたしました。

補助費等では、新施設建設に伴う清掃組合負担金や小学校の給食費無償化に伴う補助金が増加しました。

また、重要政策推進枠では3つの柱を設け、1つ目の公共施設、インフラの老朽化、防災対策では本庁舎改修工事や道路舗装補修工事など、2つ目のD X・G Xの推進では小・中学校の学習用端末一斉更新や公共施設等の照明設備L E D化など、3つ目の人口減少対策では企業誘致推進事業や空き家対策総合支援事業補助金など、それぞれ予算の重点化を図ったところでございます。

歳入予算においては市税に給与所得の伸びによる増額を見込むほか、寄附金、譲与税、交付金に増額を見込み、不足する3億2,000万円を財政調整基金の取崩しにより補填することといたしました。

当初予算編成後の財政調整基金残高は11億6,000万円となり、適正規模は維持をしているものの今後も社会保障費の増加や公共施設等の老朽化への対応など、さらなる財政需要の増加が見込まれるため、持続可能な財政運営に向けてより効果的、効率的な財政対策を講じてまいります。

3ページをご覧ください。

一般会計の歳入予算につきまして、主なものを申し上げます。

一番上の市税でございますが、53億8,381万8,000円、前年度に比べ2億60万3,000円の増額を見込んでおります。給与所得の伸びによる個人住民税の増収を見込むほか、法人市民税に企業実績の伸びによる増収を見込んでおります。

次に、上から3番目、その他の交付金でございますが、16億1,104万1,000円、前年度に比べ1億6,404万円の増額を見込んでおります。地方消費税交付金に増額を見込むほか、地方特例交付金にガソリン暫定税率及び環境性能割廃止に伴う減収補填分の増額を見込んでおります。

次に、一番下の地方交付税でございますが、42億3,000万円、前年度に比べ4,200万円の増額を見込んでおります。国の地方財政計画や国勢調査人口などを踏まえ予算計上しております。

4ページをご覧ください。

上から3番目、国庫支出金でございますが、31億9,110万7,000円、前年度に比べ1億8,520万4,000円の増額を見込んでおります。公立学校情報機器整備費補助金や生活保護費

負担金などが増額となっております。

その下の県支出金でございますが、17億2,207万6,000円、2億626万円の増額を見込んでおります。小学校給食費負担軽減交付金や地域農業水利施設ストックマネジメント事業補助金などが増額となっております。

5ページをご覧ください。

一番上の寄附金でございますが、10億220万円、前年度に比べ3億120万円の増額を見込んでおります。ふるさと納税の受入額が好調に推移していることを受け増額計上しております。

一番下の市債でございますが、11億4,210万円で前年度に比べ4,680万円の増額となっております。公共施設等の照明設備LED化をはじめとした普通建設事業費の増額に伴い発行額が増額となっております。

7ページをご覧ください。

一般会計の目的別歳出予算につきまして、主なものを申し上げます。

一番下の民生費でございますが、78億8,097万3,000円、前年度に比べ4億4,591万5,000円の増額となっております。生活保護、障がい、保育に係る事業費に増額を見込むほか、後期、介護、国保の各特別会計への繰出金が増額となっております。

なお、民生費は全体の中で2番目に増額しております。

9ページをご覧ください。

2番目の教育費でございますが、24億2,152万5,000円、前年度に比べ6億456万7,000円の増額となっております。小・中学校の学習用端末を一斉更新するほか、大網白里アリーナ及び小・中学校の照明設備LED化工事に係る経費や小学校の給食費無償化に伴う補助金が増額となっております。

教育費は全体の中で最も増額をしております。

11ページをご覧ください。

一般会計の性質別歳出予算につきまして、主なものを申し上げます。

4番目の物件費でございますが、29億7,376万5,000円、前年度に比べ2億8,600万5,000円の増額となっております。小・中学校の学習用端末一斉更新のほか、ふるさと納税の増加や地籍調査の対象拡大に伴い委託料などの経費が増額となっております。

なお、物件費は全体の中で最も増額をしております。

その下の補助費等でございますが、29億6,497万3,000円、前年度に比べ1億4,912万4,000

円の増額となっております。新施設建設に伴う清掃組合負担金や小学校の給食費無償化に伴う補助金が増額となっております。

補助費等は全体の中で2番目に増額しております。

次に、13ページから17ページの特別会計及び企業会計の予算概要につきましては、各課等から説明がございますので、ご審議のほどお願いを申し上げます。

次に、18ページをご覧ください。

18ページ以降には第6次総合計画の施策体系別に当初予算の主要事業を記載しておりますが、ここでは前年度当初予算比で新規となる事業や拡充されている事業を中心に主なものを説明させていただきます。

はじめに1、誰もが健康で思いやりのある暮らしを育むまちについてでございます。

(1)の健康づくりのうち、①予防接種事業でございますが、RSウイルスワクチンの定期接種が開始されることを踏まえ1億2,042万6,000円を計上いたしました。

④母子保健事業でございますが、産後ケア事業のほか歯科検診の対象を拡充するため3,413万5,000円を計上いたしました。

19ページをご覧ください。

(4)の児童福祉・子育て支援のうち、ア、保育サービスの充実、②学童保育・子育て交流センター運営事業でございますが、学童保育の受入れ定員を拡充するため1億5,675万6,000円を計上いたしました。

④保育総務事務費でございますが、乳児等支援給付費の支給を開始するため7,835万1,000円を計上いたしました。

22ページをご覧ください。

2、将来を担う子どもたちを育み、生涯を通じて学ぶまちについてでございます。

(2)の学校教育のうち、①GIGAスクール推進事業でございますが、小・中学校の学習用端末を一斉更新するため2億1,965万4,000円を計上いたしました。

②小中学校給食費補助事業でございますが、小学校の給食費を無償化するとともに物価高に伴う学校給食費の改定に合わせて給食費補助金を増額するため1億6,787万7,000円を計上いたしました。

④小学校施設整備事業でございますが、照明設備LED化工事のほか、瑞穂小学校の多目的室改修工事を実施するため1億6,251万8,000円を計上いたしました。

⑤中学校施設整備事業でございますが、照明設備LED化工事のほか、大綱中学校の運動

場連絡橋解体工事などを実施するため1億7,620万円を計上いたしました。

23ページをご覧ください。

(4)の生涯学習・生涯スポーツのうち、③社会体育施設整備費でございますが、大網白里アリーナの照明設備LED化工事などを実施するため1億4,678万1,000円を計上いたしました。

(5)の地域文化のうち、①文化振興事業でございますが、指定文化財修繕事業を目的としたクラウドファンディングを実施するため326万6,000円を計上いたしました。

24ページをご覧ください。

誰もが快適に暮らせるまちについてでございます。

(1)の道路整備のうち、④橋りょう等長寿命化修繕事業でございますが、道塚橋の橋梁補修工事などを実施するため2,692万円を計上いたしました。

(2)の公共交通のうち、①コミュニティバス等運行事業でございますが、瑞穂地区コミュニティバスの運行を開始するため5,786万7,000円を計上いたしました。

25ページをご覧ください。

(3)の駅周辺整備・市街地形成のうち、②地籍調査事業でございますが、調査対象区域を拡大するため6,860万5,000円を計上いたしました。

(4)の下水道・排水対策のうち、③金谷川河川改修事業につきましては、令和8年度の事業費が140万円となっておりますが、令和8年度中にJR東金線横断工事に関する協定を締結するため、令和9年度から令和11年度を期間とする債務負担行為を設定し、3年間の事業費としては16億3,673万6,000円を見込んでおります。

26ページをご覧ください。

(6)の公園・緑地のうち、①小中池公園再整備事業でございますが、小中池公園の再整備に向けて公園台帳等整備業務のほか、木橋解体撤去工事などを実施するため3,654万円を計上いたしました。

27ページをご覧ください。

4、人と自然が調和したまちについてでございます。

(1)の地球温暖化対策のうち、②ハイブリッド車購入でございますが、公用車の更新に当たりハイブリッド車を1台購入するため250万円を計上いたしました。

(2)の循環型社会の形成のうち、④清掃組合負担金でございますが、新ごみ処理施設建設に伴う負担金の増額を見込み4億7,190万7,000円を計上いたしました。

28ページをご覧ください。

(4) の生活環境の保全のうち、①空き家対策総合支援事業でございますが、空き家対策総合支援事業補助金を創設し、改修費用の一部を補助するため800万円を計上いたしました。

29ページをご覧ください。

5、誰もが安全に安心して暮らせるまちについてでございます。

(1) の防災対策のうち、①災害対策事業でございますが、千葉県被災者支援システムの運用開始や防災備蓄倉庫の整備費用などを見込み3,142万9,000円を計上いたしました。

(2) の消防・救急体制のうち、①消防団活動費でございますが、消防団員の処遇改善などを実施するため3,942万7,000円を計上いたしました。

31ページをご覧ください。

6、にぎわいと活力のあるまちについてでございます。

(1) の農業・水産業・商工業のうち、②農業経営基盤強化促進対策事業でございますが、地域農業構造転換支援事業などを実施するため4,277万7,000円を計上いたしました。

③土地改良事業でございますが、施設ストックマネジメント事業などを実施するため1億4,214万5,000円を計上いたしました。

32ページをご覧ください。

(2) の観光のうち、①観光施設管理及び観光安全対策事業でございますが、白里海岸駐車場の防護柵補修工事などを実施するため5,464万4,000円を計上いたしました。

(3) の移住・定住のうち、②移住支援事業補助金でございますが、空き家バンクに登録されている物件を購入、賃借して移住する方に対し費用の一部を補助するため60万円を計上いたしました。

③関係人口創出事業補助金でございますが、市内外から若者がまちづくりに参画できるまちづくりプラットフォームを創設するため31万2,000円を計上いたしました。

(4) の企業誘致・就労環境のうち、①企業誘致推進事業でございますが、産業用地検討調査業務を実施するため1,191万7,000円を計上いたしました。

33ページをご覧ください。

7、地域・市民が主役のまちについてでございます。

(1) のまちづくりの情報共有のうち、②市ホームページ・SNS運営事業でございますが、市が運用するLINEにセグメント配信・防災メール配信機能を導入するため179万4,000円を計上いたしました。

35ページをご覧ください。

8、創意と工夫による持続可能な行財政運営の推進についてでございます。

(1) の行財政運営のうち、②本庁舎改修事業でございますが、令和8年度はエレベーター棟増築工事を実施するため2億6,900万円を計上いたしました。

③旧庄ぜん解体工事でございますが、老朽化が進行している旧庄ぜんの解体工事を実施するため4,190万円を計上いたしました。

⑤新財源検討事業でございますが、新財源検討委員会を設置・運営するため21万6,000円を計上いたしました。

以上が令和8年度当初予算案の概要でございますが、冒頭述べましたとおり予算編成に当たっては、財政健全化目標との両立を図りながらも重要な政策課題には財源の範囲内で予算を重点化してきたところでございます。中でも人口減少対策では対策を強化するため、移住・定住の促進、企業誘致の推進、関係人口の創出の3つを柱として新たな事業展開を図っております。

1つ目の移住・定住の促進では、空き家バンクへの登録を効果的に移住・定住につなげていくため、空き家対策総合支援事業補助金と移住支援事業補助金をそれぞれ創設をいたします。

2つ目の企業誘致の推進では、圏央道の県内全線開通による成田空港へのアクセス向上の機会を捉え、大網白里スマートインターチェンジ周辺地区における産業用地検討調査を新たに実施をいたします。

3つ目の関係人口の創出では、市内外から若者がまちづくりに参画できるまちづくりプラットフォームを新たに創設し、令和7年度から本市と協働している東大あぐりえこんに運営を担っていただき、前例に縛られない新しく大胆な発想で地域課題の打開を図ってまいります。

この後個々の事業の詳細な内容につきましては、各課等から説明をいたしますので、よろしくご審議をいただきますようお願いを申し上げます。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 金坂市長、ご苦労さまでございました。

退席していただいて結構でございます。

（市長 退室）

◎令和８年度各会計歳入歳出予算について

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 続いて、次第の第４、審査事項。

委員長、お願いいたします。

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、早速審査に入らせていただきます。

財政課を入室させてください。

（財政課 入室）

○委員長（小金井 勉委員長） 財政課の皆様ご苦労さまでございます。

ただいまから令和８年度予算について審査を行います。

時間の関係もありますので、説明は簡潔明瞭をお願いいたします。

なお、説明、答弁の際は、挙手の上、委員長の許可を求めてから発言してください。発言は座ったまま行っていただいて結構です。速やかに答弁が得られない場合は次に進めてまいります。早急に答弁ができる形を取っていただくことをお願いいたします。また、本日も必ずマイクの使用をお願いします。

はじめに職員の紹介をしていただき、続けて説明を開始してください。

それでは、よろしくお願いいたします。

○森川裕之財政課長 それでは、財政課の出席者について紹介させていただきます。

皆様から向かいまして私の左隣、副課長の山本でございます。

○山本卓也財政課副課長 よろしくお願いします。

○森川裕之財政課長 そして、私の右隣、副主幹で契約管財班長の小林でございます。

○小林貴大財政課副主幹兼契約管財班長 よろしくお願いいたします。

○森川裕之財政課長 その隣、財政班長の加藤岡でございます。

○加藤岡大祐財政課主査兼財政班長 よろしくお願いいたします。

○森川裕之財政課長 そして、補助員として三浦副主査を同席させていただいております。よろしくお願いいたします。

最後に私、課長の森川でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、着座にて失礼いたします。

それでは、お手元の説明資料に基づきまして当課所管の令和８年度当初予算の内容をご説明させていただきます。

まず、資料の１ページをご覧くださいと思います。

令和８年度当初予算説明資料総括表でございます。

はじめに予算編成の基本的見解でございますが、歳入につきましては、地方財政計画を踏まえ地方消費税交付金や地方交付税に増額を見込んだほか、各公共施設の照明LED化工事をはじめとした普通建設事業費の増加に伴い市債を増額したところでございます。

予算総額としては、2ページ合計欄記載のとおり前年度に比べ8,956万9,000円増の77億5,595万6,000円を計上しております。

なお、収支不足の改善により財政調整基金繰入金は減額となっております。

3ページをご覧ください。

歳出予算につきましては、庄ぜん解体工事の実施により財産管理費が増額したほか、金利上昇に伴い償還利子が増額となった一方で、本庁舎改修工事に関わる事業費の減少により庁舎管理費が減額となったほか、市債残高の減少により償還元金が減額となったことなどにより、予算の総額といたしましては合計欄記載のとおり前年度に比べ6,696万円減の26億831万7,000円を計上しております。

4ページをご覧ください。

主な歳入についてご説明いたします。

通し番号の1番、地方揮発油譲与税から14番目の特別交付税までは国の地方財政計画や過去の交付実績を考慮して予算計上をしております。

そのうちの11番、地方特例交付金につきましては、ガソリン暫定税率及び環境性能割廃止に伴う減収補填分の増額を見込み前年度に比べ4,800万円、109.1パーセント増の9,200万円を計上したところでございます。

また、13番の普通交付税につきましては、前年度に比べ5,000万円、1.3パーセント増の40億1,000万円を計上したところでございますが、国の地方財政計画に基づく増額を見込む一方で、本市の令和7年度国勢調査人口に基づく減額要因も見込まれますことから、増額の幅としては抑制されたものとなっております。

5ページをご覧ください。

23番、財政調整基金積立金利子、25番、減債基金積立金利子、26番、庁舎等建設基金積立金利子につきましては、債券や定期預金による運用の収入の増額を見込みまして、前年度に比べ合計で808万7,000円、58.9パーセント増の1,317万5,000円を計上したところでございます。

31番、財政調整基金繰入金につきましては、一般会計における収支の不足額を補填するものでございますが、収支不足の改善により前年度に比べ1億7,909万8,000円、36.1パーセ

ント減の 3 億1,719万5,000円を基金から繰入れいたします。

6 ページをご覧ください。

56番、庁舎整備改修事業債から 7 ページの92番、中部コミュニティセンター整備事業債までの37件の市債につきましては、工事費などの財源として発行する予定で、前年度に比べ合計で4,680万円、4.3パーセント増の11億4,210万円を計上したところでございます。

次に、主な歳出についてご説明いたします。

9 ページをご覧いただきたいと思います。

新財源検討事業でございますが、新財源検討委員会の運営に要する経費で、令和 8 年度は委員会 4 回の開催を予定し、委員報酬合計21万6,000円を計上しております。

10ページをご覧いただきたいと思います。

財政運営事務費でございますが、予算、決算の管理など財務運営に要する経費を計上しております。令和 8 年度は現行の財務会計システムの利用延長に当たり、O S 最適化のためのシステム改修を実施するため、前年度に比べ103万3,000円、23パーセント増の552万2,000円となっております。

11ページをご覧いただきたいと思います。

庁舎管理費でございますが、庁舎の維持管理に必要な経費を計上しております。令和 8 年度は仮設議場のための音響設備等機器を購入するほか、開庁時間短縮に伴う警備時間の延長により庁舎等警備委託料が増額する一方で、継続費 2 年目となる本庁舎改修に係る事業費が減額となったため、前年度に比べ8,912万8,000円、20.6パーセント減の 3 億4,358万4,000円となっております。

なお、令和 8 年度の庁舎改修につきましては、エレベーター棟の増築のほか議場の改修を予定しており、財源については交付税措置のある公共施設等適正管理推進事業債の活用を予定しております。

続いて、12ページをご覧いただきたいと思います。

財産管理費でございますが、市有財産の維持管理に要する経費を計上しております。令和 8 年度は旧庄ぜんの解体工事を計画しており、前年度に比べ4,011万5,000円、373.6パーセント増の5,085万1,000円となっております。

続いて、13ページをご覧いただきたいと思います。

共用事務費でございますが、共用プリンター、複写機の借上料やこれらに関わる消耗品費、公用車の維持管理に要する経費など、市役所の共用の事務に要する経費を計上しております。

す。令和８年度はガソリン暫定税率の廃止により燃料費に減額を見込む一方で、共用車の車検費用に増額を見込んだことから、前年度に比べ18万円、1.5パーセント増の1,243万2,000円となっております。

14ページをご覧いただきたいと思います。

契約検査事務費でございますが、入札、契約及び検査事務に要する経費を計上しております。令和８年度は県及び県内市町村が共同利用している千葉電子調達システムが更新されるに伴い使用料の増額が見込まれることから、前年度に比べ122万円、49.2パーセント増の369万9,000円となっております。

続いて、15ページをご覧いただきたいと思います。

基金管理費でございますが、基金の元金や運用利子の管理に要する経費を計上しており、令和８年度は債券や定期預金による運用収入の増加を見込み積立金を増額したことから、前年度に比べ808万7,000円、158.7パーセント増の1,318万2,000円となっております。

続いて、16ページをご覧いただきたいと思います。

大網病院繰出金でございますが、直近での経営状況の厳しさを踏まえつつも、令和８年度に行われる診療報酬改定に収支改善の要因を見込み前年度と同額の３億9,500万円を計上いたしました。

17ページをご覧いただきたいと思います。

下水道事業会計繰出金のうち、コミュニティ・プラント事業分でございますが、前年度に比べ219万5,000円、7.2パーセント増の3,257万円となりました。

続いて、18ページをご覧いただきたいと思います。

下水道事業会計繰出金のうち、農業集落排水事業分でございますが、前年度に比べ140万3,000円、2.1パーセント減の6,562万円となっております。

続いて、19ページをご覧いただきたいと思います。

下水道事業会計繰出金のうち、公共下水道事業分でございますが、前年度に比べ79万2,000円、0.3パーセント減の２億2,880万円となりました。

以上、３事業分を合計した下水道事業会計繰出金の総額は前年度と同額の３億2,699万円としております。

続いて、21ページをご覧いただきたいと思います。

償還元金でございますが、令和４年度をピークに償還額は減少を続けており、前年度に比べ5,988万4,000円、4.3パーセント減の13億3,974万7,000円となっております。

22ページをご覧いただきたいと思います。

償還利子でございますが、金利の上昇に伴いまして利払いの増加を見込み前年度に比べ3,122万1,000円、88.7パーセント増の6,641万3,000円となっております。

最後に24ページをご覧いただきたいと思います。

予備費でございますが、前年度と同額の5,000万円を計上しております。

以上が財政課が所管いたします予算の概要となります。

よろしくお願いいたします。

○委員長（小金井 勉委員長） ご苦労さまです。

ただいま説明がありました予算の内容についてご質問等あればお願いいたします。

金森委員。

○金森浩二委員 お疲れさまでございます。

12ページの先ほどの庄ぜん解体のところなんですけれども、4,190万、かなりの高額にはなるところですが、見積り等は出してこの予算を計上しているという形ですね。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○小林貴大財政課副主幹兼契約管財班長 見積りを2者いただいた上で算定しております。

○委員長（小金井 勉委員長） 金森委員。

○金森浩二委員 アスベストが絡んでの高額ということではなかったですか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○小林貴大財政課副主幹兼契約管財班長 アスベスト費用は、一応見積りの時点ではまだ想定
の範囲内で想定をした中での見積りとなっておりますので、一応含まれてはおります。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにございますか。

上代委員。

○上代和利委員 21ページ、償還元金ですけれども、今ご説明あったように令和4年からだんだん少なくなっていると言っていますけれども、市債残高というか、その経緯というか、今後どのように、ご説明いただければ。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。課長。

○森川裕之財政課長 公債費の残高ですけれども、7年度末で117億円の残高がございます。

公債費としましては、徐々に残高が減っている関係で償還額自体も減ってきております。

ただし、金利の上昇がありますので、新たに借り入れるものについては償還の利子が増えてくるという見通しなんですけれども、全体としましては公債費の償還をしている額の内

数で新たな起債を借り入れるという方針でやってきていますので、総体的には残高は減っていくものという見通しでございます。

以上でございます。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにございますか。

北田委員。

○北田宏彦委員 14ページの入札監視委員会等委員報酬について、令和7年度は2万7,000円の計上で令和8年度は5万4,000円ということだから、去年は年度の途中からの委員会の開催であったのかなと推測はできるんですけども、何回会議を開いて具体的に入札の案件をピックアップして調査したとか、そういう報告とかというのはどのようなになっているのか、令和8年度は何回の会議であるとか、そのへんを予定しているのかどうか伺いたいと思います。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。課長。

○森川裕之財政課長 令和7年度につきましては、上期の入札案件について下期で審査しましたので、1回だけ開催をさせていただきました。案件としましては各委員が抽出した入札案件、合計3件について審査をしていただきました。委員の意見としましては、我々のほうで地域要件とかを絞って、7件以上の入札があるようにという目安で発注をしているんですが、結果として2者だったり3者だったりという結果になっておりますので、もう少し業者が入るような工夫をしたらどうかという意見をいただいております。

新年度につきましては、上期、下期それぞれでございますので、7年度の下期分を来年度の上期に実施しまして、来年度の上期分をこの下期に委員会を開催するということで都合2回を予定しております。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 歳入なんですけれども、普通交付税について先ほど財政計画とあとは人口減、それぞれプラスとマイナスの結果、ちょっとだけプラスになったという、そういうお話だったんですけれども、人口減の分というのは算定されたのはどのくらいなんですか、今後の人口減においてこれから減り続けるのかどうか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○加藤岡大祐財政課主査兼財政班長 こちらの地方交付税のうち普通交付税でございますが、当初の国勢調査の人口の減少の見込みとして、速報値で国勢調査人口の減少がマイナス約

1,700人程度の情報でありましたので、それを踏まえますと、交付税としては需要額でマイナス1億2,000万程度が減少するということが見込まれますので、地方財政計画上は交付税は増額になっておるんですけれども、マイナス1億2,000万程度の減少を兼ね合わせまして、今年度の普通交付税の予算としては40億1,000万としているところでございます。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 1,700人減の分が1億2,000万減だということですよしいですね。分かりました。

9ページなんですけれども、新財源検討委員会の経費が載っていますが、全員協議会の説明ではまだ人選のめどが立ってないという話だったんですが、その後どうなったのかお答えください。委員の顔ぶれ等決まっていたらお願いします。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○森川裕之財政課長 3月に委嘱させていただいて、3月中に1回目を開催したいということでご説明を申し上げたところなのでございますが、財政がご専門で委員会の中心メンバーと考えておりました城西国際大学の経営情報学部の学部長さんでいらっしゃいます渡邊修朗教授のほうで緊急入院をされまして、その時点で人選が止まってしまったということが起きました。

退院した翌日、3月5日にご来庁いただきまして、そのときに委員を受けていただけるということは確認はできたんですけれども、委員会の進め方とか人選について相談させていただいたところ、年度内の委員会の開催が難しいということが分かりまして、今年度3月の開催は難しいということでございます。

以上でございます。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 3月の開催は難しいけれども、この予算は次年度ということですよ。だから、次年度の3月の分はあるということなんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○森川裕之財政課長 新財源につきましては、令和7年度補正予算で1回分を予算計上させていただいておりますが、これは使わずに新年度に4回分を計上させていただいてございます。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 11ページの議場音響設備等機器工事費687万円の具体的な内容をお願いします。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○小林貴大財政課副主幹兼契約管財班長 議場の音響設備機器工事の内容になりますけれども、まず今年の3月から議場の工事に入ります。次回の議場の音響設備を保健文化センター等を実施する予定でございます。そちらの仮議場の音響設備ということで、残時間表示と人数表示のディスプレイ、こちらを2台、あとスピーカーを6台、あとスピーカーを操作するアンプ、こちらにつきましても2台、あと会議用のマイク、スピーカー、あと管理用のパソコン、そういった内容になります。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○森川裕之財政課長 一点補足させてください。こちらにつきましては、議場の改修を終わ次第、使ったものをそのまま移設させていただいて、今の議場のほうでも使わせていただくという流れで計画しております。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 これは移設の工事費も入っているんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○森川裕之財政課長 含まれております。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 次12ページ、先ほど金森委員も質問していましたが、旧庄ぜんの解体工事費4,190万、ちょっと高過ぎるんじゃないかという話があったんですが、担当課としてしょうがないというふうに思っているんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○森川裕之財政課長 業者に見積りを取った結果で計上しておりまして、我々では積算が難しいというところもございますので、高いのかなという疑念はお持ちかと思いますが、見積りに基づく予算計上ということでご理解いただきたいと思います。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 これだけ20年近くほったらかしにしておいて、その間、市の資産が使われなかった、市の財産が使われなかったことのほうが逆に大きいぐらいで、実際これはすごく

反省していただきたいなと思います。

16ページ、病院事業会計の繰出金について診療報酬の改定があるから前年と同じで済むと言ったんですけれども、これはプラス要因幾らだというふうに考えているんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○森川裕之財政課長 大変申し訳ございません。そのへんの情報がなくて、病院のほうでも診療報酬は改善されるというような見込みと今直ちに判明しているのは、繰出し基準の中に2次救急の費用というのが増額されるという情報がございますので、そのへんも加味した中で病院のほうで予算要求もしてきております。

財政としましては、今年も医業収益のほうが増加しておりますので、そのへんの自助努力というんですか、収入の改善を図るというのを見込みまして、前年度並みとさせていただいておるところでございます。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 不適切な会計で赤字になって結局出資金を減らすという形になったわけですが、今回も赤字になる。思うように診療報酬改定分がプラスにならなかったらそうなるわけですね。本当にこのような当初予算でいいのかというのは甚だ疑問ではありません。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにございますか。

猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） お疲れさまです。

まず、歳入のほうなんです、ふるさと納税からの歳入というのが企業版ふるさと納税基金からの繰入金というのがあるんですけれども、一般のふるさと納税からの繰入金というのが項目がないんですが、これはやらないような感じなのでしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○森川裕之財政課長 企業版ふるさと納税につきましては、使い切れない部分は基金に積んで活用するときに取り崩すという流れなんですけれども、通常のふるさと納税分につきましては、寄附者の意向に沿った事業に充当した後、残ったものは財政調整基金なり減債なりに積むという流れになっております。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長）　ないやつは財政のほうに入って、財政のほうからの繰入れの中に入っているような形なんですね。分かりました。

あと財政調整基金なんですけれども、持続可能な財政運営に向けた取組でいくと、11年に20億というふうに目標値があるんですけれども、今回また見込みでいったら11億ぐらいにまた落ちてから始まるんですけれども、最終的にはまた少しそのへんが入ってくるだろうとは思いますが、今後の財政調整基金の積み増しに対して何かプランというのはあるのでしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長）　課長。

○森川裕之財政課長　7年度の決算におきましては、共同でやっております住民情報系のシステムの標準化の費用というのを行政組合の負担金として支出しているお金が4億ぐらいあるんですけれども、通常ですとそれに対する国の補助金というのがほぼ100パーセントついている状態なんですけれども、今回事業が完了しなかったということで、来年度に交付ということで取りあえず一般財源を入れて組合に支出するという形を取っているので、7年度のおそらく決算収支については思っているよりも4億少ない金額が出てくると思うんです。

ただし、8年度については4億円がまるっと国から補助金が来ますので、プラス4億円というふうに見通しをしているんですけれども、今回11億6,000万ぐらい予算を立ててから残高が減るんですけれども、そのへんの収支の2分の1を法定で積みなければいけないというルールがございますので、そのへんは7年度についてはそんなに増えないんですけれども、8年度については間違いなく4億円のプラスになりますので、その分は戻せるというふうに見込んでおるところでございます。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長）　猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長）　分かりました。

以上です。ありがとうございます。

○委員長（小金井 勉委員長）　ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小金井 勉委員長）　財政課の皆様ご苦労さまでございました。退席していただいて結構でございます。

（財政課 退室）

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、財政課に関する予算の内容について取りまとめに入りたいと思いますが、昨年の指摘事項を副委員長、読み上げてください。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 財政課、令和7年度、①財政健全化に向けて継続して実効性のある緊急的な取組をされたい。②適正な入札執行に努められたい。③公営企業と連携し、企業会計への繰出金を縮減するための取組を検討、研究されたい。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、皆様ご意見等ございませんか。

ただいま昨年の今、副委員長に読み上げていただきましたけれども、そこに対しての修正等あれば何なりとご意見等お願いいたします。

北田委員。

○北田宏彦委員 財政課にここの審査の中でのことなのか、総務課に言えることなのか、何とも言えないのだけれども公営企業会計に関して適正な処理というか取組をお願いしたいというその点、一文、この③に何かうまくそのへんの文言を入れていただくと形がいいのかなと思いますけれども。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにございますか。

上代委員。

○上代和利委員 昨年の1番、2番も引き続き大事な要点だと思いますので、入れていいんじゃないのかなというふうに思いました。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかに何か付け加える点等ございませんか。

（「一任」と呼ぶ者あり）

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、以上で財政課の審査を終了いたします。

次に、総務課並びに選挙管理委員会を入室させてください。

（総務課 入室）

○委員長（小金井 勉委員長） 総務課並びに選挙管理委員会の皆様ご苦労さまでございます。

ただいまから令和8年度予算についての審査を行います。

時間の関係もありますので、説明は簡潔明瞭をお願いいたします。

なお、説明、答弁の際は挙手の上、委員長に許可を求めてから発言してください。発言は座ったまま行っていただいて結構です。速やかに答弁が得られない場合は次に進めてまいります。早急に答弁ができる形を取っていただくことをお願いいたします。また、本日も必ずマイクの使用をお願いいたします。

はじめに職員の紹介をしていただき、続けて説明を開始してください。

それでは、よろしくお願いいたします。

○田邊哲也参事（総務課長事務取扱） 総務課でございます。よろしくお願いいたします。

はじめに職員の紹介をさせていただきます。

皆様から見て私の右隣、副課長の高橋でございます。

○高橋和也総務課副課長兼選挙管理委員会書記長 高橋です。よろしくお願いいたします。

○田邊哲也参事（総務課長事務取扱） その隣が行政班長の秋田谷でございます。

○秋田谷知則総務課主査兼行政班長 よろしくお願いします。

○田邊哲也参事（総務課長事務取扱） 私の左隣、人事班長の猪野でございます。

○猪野一洋総務課主査兼人事班長 よろしくお願いします。

○田邊哲也参事（総務課長事務取扱） その隣が情報政策・業務改革推進班班長の小倉でございます。

○小倉博明総務課主査兼情報政策・業務改革推進班長 よろしくお願いします。

○田邊哲也参事（総務課長事務取扱） 私、総務課長の田邊でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、着座にて説明をさせていただきます。

それでは、総務課の当初予算の概要につきまして説明させていただきます。

事前に提出しております説明資料に沿って説明させていただきます。

はじめに1、2ページ、総括表をご覧くださいと思います。

総務課及び選挙管理委員会が所管する人件費を除いた予算につきまして、歳入額、こちらが2億6,838万7,000円、前年と比較いたしますと6,803万5,000円の減、減額率が20.2パーセントでございます。

減額の主な内容といたしましては、自治体中間サーバの更新に係る社会保障・税番号制度システム整備費補助金、システム標準化に係るデジタル基盤改革支援補助金等の総務費国庫補助金の減並びに参議院議員通常選挙に係る総務費委託金のこちらは皆減によるものとなっております。歳出額につきましては3億3,128万7,000円、前年と比較いたしますと2億5,927万9,000円の減、減額率は43.9パーセントでございます。

事業ごとに増減がありますので、こちらは歳出の概要の中で説明をさせていただきたいと思います。

続いて、3ページをご覧ください。

主な歳入科目について説明をいたします。

はじめに16款2項1目総務費国庫補助金の2節デジタル基盤改革支援補助金といたしまして2億6,207万8,000円を計上してございます。この補助金は本年1月予定しておりましたシステム標準化の正式稼働が1年延伸されたということに伴いまして、標準化対象業務に係るシステムの移行費用のほか、移行期間中におけるガバメントクラウドの利用料等の財源として令和8年度予算に改めて充当したものでございます。

次に、同補助金の3節地域未来交付金（デジタル実装型）ですけれども、安全対策課が災害対策事業として実施する千葉県被災者支援システムの運用に係る協議会負担金に係る交付金となっております、全額災害対策費に充当をしております。

次に、県支出金の17款1項1目総務費負担金、こちらは権限移譲事務交付金として障がい者の日常生活・社会生活を総合的に支援するための法律に基づく自立支援医療費の支給認定申請に係る審査など、本来県が行う事務について権限の一部の移譲を受けて市が行っている事務に関する交付金として27万7,000円を計上してございます。

次に、17款3項1目総務費委託金でございますが、令和9年4月29日の任期満了に伴う県議会議員選挙に係る執行経費のうち、令和8年度中に事務を執行する部分、いわゆる入場整理券の印刷でありますとか発送等に係る委託金といたしまして389万7,000円を計上しております。

次に、歳出の概要について説明をいたします。

5ページ、6ページをご覧ください。

職員研修事業費でございますが、職員個人の能力の向上を目的といたしまして、新規採用時や経験年数、昇格等に応じて実施する職務階層別研修、それぞれの配置部署で携わる事務、職務内容に応じた専門研修、そして全職員を対象とした意識啓発や知識習得のためのテーマ研修を行っております。

この事業費では、主に職務の専門性を高める千葉県自治研修センターや全国市町村職員研修所、市町村アカデミーと言われるものなんですけれども、こちらへの派遣研修に要する参加負担金及びこれらに係る旅費のほか、市が独自に実施する研修の講師派遣手数料等といたしまして47万円を計上しております。

次に、7ページ、8ページをご覧ください。

行政事務情報化推進事業ですが、全庁ネットワークやL G W A N接続などのネットワーク基盤の整備、維持管理、それと自治体D Xの推進に係る経費としてインターネットや出先

機関を結ぶ通信回線費用、高度なセキュリティ対策を実施、提供する千葉県自治体情報セキュリティクラウドサービス利用料、全庁ネットワーク機器の借上料、汎用オンライン申請システム使用料のほか、キャッシュレス決済端末導入に伴う公金収納に係る委託料など、前年度比6,986万2,000円減となります8,509万1,000円を計上しております。

予算額が減額となった要因といたしましては、令和7年度は単年度予算としてウインドウズ10のサポート終了に伴いまして、職員業務用パソコンの購入、設定に係る予算を計上していたということが原因でございます。

次に、9ページ、10ページをご覧ください。

基幹系業務システム運用事業でございますが、住民記録や税務などの基幹系業務システムやマイナンバー関連システムに係る経費といたしまして、電算オンライン接続回線費用、マイナンバー制度における情報連携を可能とする番号連携サーバの保守費用、基幹系業務システムに係る設備の借上料など、前年度比5,106万6,000円減となります6,473万3,000円を計上しております。

なお、ガバメントクラウド利用料についてはデータ通信量に応じた従量課金制となっておりますことから、その性質に応じ予算科目を使用料、賃借料から通信運搬費へと変更してございます。

予算額が減額となった要因としては、システム標準化が1年延伸となったこと、そのほか令和7年度におけるガバメントクラウドの利用料に係る支出状況を踏まえまして、この利用料に係る要求額を約5,100万円減額したことによります。

なお、当該クラウドの導入経費につきましては、デジタル基盤改革支援補助金の補助対象となるため、4月から12月までの9か月間として2,535万2,000円の歳入予算を計上してございます。

次に、11ページ、12ページをご覧ください。

総務事務費でございますが、こちらは総務課行政班が所掌する事務費といたしまして、固定資産評価や情報公開等に関する審査会関係費、市役所が日々発送いたします料金後納郵便の発送費用、総合賠償補償保険に係る費用、受付業務、例規集データベース更新業務に係る委託料、山武郡市広域行政組合への負担金など、前年度比125万4,000円増となります6,469万4,000円を計上してございます。

次に、13ページ、14ページをご覧ください。

職員福利厚生事務費でございますが、こちらは新規採用職員に貸与する被服購入費や職員

の健康診断に係る委託料など、前年度比5万1,000円減となります401万5,000円を計上しております。

次に、15ページ、16ページをご覧ください。

訟務関係費でございます。

こちらは法律相談等に係る経費といたしまして、顧問弁護士2名分の委託料として前年度と同額44万円を計上してございます。

次に、17ページ、18ページをご覧ください。

労働安全衛生事業でございます。

こちらは職員の安全、それと健康の確保を目的といたしまして、産業医の報酬をはじめ安全衛生推進者等の研修費用や労働安全衛生法により実施が義務づけられておりますストレスチェックの実施等に関する経費といたしまして、前年度比7万7,000円減となります118万5,000円を計上してございます。

次に、19ページ、20ページをご覧ください。

職員関係事務費でございますけれども、こちらは総務課人事班が所管する事務費といたしまして、人事・給与システム、勤怠管理システムの利用料、職員の新規採用時の適性検査費用、公平委員会非常勤特別職員の公務災害基金に係る負担金、机、椅子などの事務用備品の購入等に要する経費といたしまして、前年度比21万2,000円増となります798万円を計上しております。

次に、21ページ、22ページをご覧ください。

共同処理費でございますが、こちらは住民記録、税務業務のほか、住民基本台帳ネットワークや福祉業務などの電子計算業務につきまして、山武郡市内3市2町で共同処理しているシステムのパッケージ使用料、運用支援保守費用、山武郡市広域行政組合電子計算課職員の人件費などを負担金といたしまして、前年度比1億4,128万8,000円減となります7,373万6,000円を計上しております。

予算額が減額となった主な要因といたしましては、システム開発の遅れにより急遽1年間の延伸となりましたシステム標準化に係る負担金につきまして、今年度既に支出をしておりますことから、令和8年度予算に改めて所要額を計上するのではなく、行政組合側において当該予算額を令和8年度に繰越明許をすることになったことによるものでございます。

次に、人件費についてご説明をいたします。

23ページをご覧ください。

総務課で所管いたします会計年度任用職員を含めた人件費は、令和7年人事院・千葉県人事委員会勧告において給料表、それと期末勤勉手当の支給率等をプラス改定する勧告であったことに伴い資料下段の①、それと②の表にあるとおり、前年度当初に比べ1億6,988万2,000円、4.4パーセント増となります40億2,999万7,000円を見込んでおります。

その内訳でございますが、特別職及び一般職の人件費につきましては、①の表の小計（A）となり、前年度に比べ9,971万6,000円、3.01パーセント増となります34億825万1,000円となっております。また、会計年度任用職員の人件費につきましては、②の表の小計（B）となっておりまして、前年度と比べ7,016万6,000円、12.72パーセント増となります6億2,174万6,000円となっております。

次に、24ページをご覧ください。

上段、参考②の表でございますが、一般職に特別職、再任用、任期付職員を含めた会計別の職員数をまとめたものでございます。

総務課で所管する一般会計及び介護保険特別会計分の職員数、小計のC欄でございますが、こちらは5名増となります401名となっております。ガス事業、病院事業、下水道事業の公営企業を合わせた職員数につきましては、小計のE欄に記入しておりますように前年度より1名増となる550名となっております。一部事務組合等への職員派遣につきましては、東金市外三市町清掃組合へ2名、千葉県後期高齢者医療広域連合へ1名の派遣を継続しており、全体の職員数、合計のG欄につきましては、1名増となる553名となっております。

なお、参考④の表でございますが、会計年度任用職員の会計別職員数でございます。公営企業を除く職員数の合計のC欄ですが、保育士や小・中学校に配置している環境美化作業員の増などがありまして、前年度より10人増となる235人となっております。

続いて、25ページをご覧ください。

2の給与改定関係について説明をいたします。

（1）令和7年人事院・千葉県人事院勧告に基づく給与改定につきましては、今定例会に関係議案を提出しご審議いただいているところでございます。

（2）のその他の改定といたしましては、子に係る扶養手当の増額、都道府県を基本とする地域手当の大きくくり化に伴う支給率の引下げを実施することとしております。

続きまして、選挙管理委員会所管の歳出についてご説明をいたします。

ページで申しますと26ページ、27ページになりますので、そちらをご覧くださいと思います。

選挙管理委員会の事務費でございますが、選挙管理委員会の庶務関係経費といたしまして4名分の委員報酬などのほか、システムの標準化に伴う選挙システムの移行経費など、前年度同額の464万円を計上してございます。

なお、選挙システムの標準化移行業務委託料につきましては、システム標準化が1年延伸されたことに伴いまして、令和7年度予算に計上しておりました委託料、こちらを今議会において全額減額補正をしているところでございます。

続いて、28ページ、29ページをご覧ください。

千葉県議会議員選挙費でございます。

令和9年4月29日の任期満了に伴い執行が予定されております県議会議員選挙に係る執行経費のうち、先ほども申しましたとおり令和8年度中に事務を執行する部分、入場整理券の印刷でありますとか、発送等に係る経費といたしまして389万7,000円を計上してございます。

なお、この経費につきましては、全額県からの委託金により賄われることとなります。

最後に30ページ、31ページをご覧いただきたいと思います。

市長選挙費でございますけれども、令和9年1月16日の任期満了に伴いまして執行が予定されております市長選挙に関する執行経費といたしまして2,040万6,000円を計上しているところでございます。

以上、総務課及び選挙管理委員会が所管する予算の概要についての説明とさせていただきます。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（小金井 勉委員長） ただいま説明がありました予算内容についてご質問等あればお願いいたします。

上代委員。

○上代和利委員 25ページの休職、育休の状況というところがあると思うんですが、育休は取っていい権利ですので、育休はあれなのでしょうけれども、病気休暇、基準日時点で1か月以上取得をしている者の人数ということで、令和8年1月、元旦現在で1か月以上休んでいる方が10人いらっしゃるんですかね。1か月以上ですから長期になりますけれども、そういうケアというか、そのへんの何もできないのか分からないんですが、そういう状況が分かれば教えてください。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○猪野一洋総務課主査兼人事班長 病気休暇、休職の状況でございますが、この中には身体的なけがをしている者もいればいわゆるメンタル不調の者もあります。そういったけがだとか、あとは外科的な病気、そういったものは職場でできることは限られるかと思うんですが、メンタル不調に関しましては、現にこのように休職に至ってしまった者につきましては、別途それぞれ主治医がいて医師の診断の下、休職する、しないだとか復職のタイミングだとかというものを定期的に受診することによってケアしていただいているものと、あとは職場といたしましても、定期的に医師の診断とは別に状況の報告を求めまして、それによって必要に応じて電話でのやり取りだとか、可能であれば面談したりだとかを通じまして、早期復職への道を探っていくというようなことは事実としては行っているところでございます。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 上代委員。

○上代和利委員 ありがとうございます。

大事な職員さんですので、引き続きそのへんのケアというか、そのへんもまたよろしくお願いをしたいと思います。

もう一点なんですが、19ページなんですが、委託料、職員関係事務費というので13万2,000円、内部通報相談員、それからまたハラスメントアドバイザー委託料ということで13万2,000円が上がっているんですが、どういうことをされているのでしょうか、教えてください。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○猪野一洋総務課主査兼人事班長 まず、内部通報相談につきましては、制度としては内部通報という制度がございまして、例えば職員が不正を見聞きしたとか、そういった場合に通報することができる制度があるんですけども、その通報先としてももちろん人事の職員に対する通報先というのは確保しているんですが、それとは別に場合によっては内部に知られたくないだとか、通報しにくいだとかというケースも考えられますので、委託先につきましては弁護士の先生になるんですけども、弁護士の先生と契約をして、そういった内部通報の必要がある職員の通報先として、弁護士の先生に我々を通さずに通報することができる先を設けるということで契約をしております。

ハラスメントアドバイザーにつきましては、ハラスメント事案と疑われる事案が発生したときに、これは社会保険労務士の方が相手先になるんですけども、我々が相談を受けて、

こういったハラスメントが疑われる事案が発生したときに、それがハラスメントとして該当し得るかどうかというアドバイスを専門的な見地からいただくために契約をして、人によってはアドバイスをいただくということを想定した契約となります。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 上代委員。

○上代和利委員 ありがとうございます。

今年、7年度はハラスメント事案はあったんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○猪野一洋総務課主査兼人事班長 今年度につきましては、実際ハラスメントアドバイザーの方に意見を求めるという機会は今のところはありません。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにございますか。

金森委員。

○金森浩二委員 今の上代委員の部分に通じる部分があるかなと思うんですけども、17ページ、ストレスチェック、これは全職員に対してやっていらっしゃるんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○猪野一洋総務課主査兼人事班長 法令でどの範囲でやるかという決まりがあるんですけども、まずいわゆる正規職員につきましては全員行っております。会計年度任用職員につきましては契約の形態が様々でございますので、1週間当たりのいわゆる契約時間で一定の時間数以上勤務されている方を対象としております。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 金森委員。

○金森浩二委員 このストレスチェックが例えばですけども、メンタルの面での休職とか、そういったものを防げるものと判断してやっているということ、今決まりでというのもおっしゃっていましたが、そういうところでの活用ができているというふうには感じているんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○猪野一洋総務課主査兼人事班長 ストレスチェックの大きな目的として、いわゆる休職に至らないまでも、あとは本人が自覚していない部分についてストレスチェックでいろいろアンケートみたいなものを行ってその結果が出るんですけども、それで休職に至っていない

までもストレスの負荷が高いですよというふうな結果が出た職員に対しまして、例えば産業医の面談を通じて、あらかじめ医師とつながりをつくって事前に長期の休職になってしまふことを防ぐだとか、あとは産業医の受診だけでなく、衛生管理者、本市でいうと保健師をいわゆる相談先としたりだとか、あとは外部機関で千葉縣市町村共済組合だとか、あと国、厚生労働省につきましてもそういった相談窓口を設けていますので、そういった高ストレスというふうに判定された職員に対しまして、産業医への受診勧奨ですとか、そういった相談窓口への案内を早期に行うことによって、いわゆる休職者、長期の休職に至るまでにその芽を潰すというか、そういった機会を提供するということでストレスチェックの結果を活用しているところでございます。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 金森委員。

○金森浩二委員 今おっしゃっていたとおりで、早くケアができるのであれば、それを活用するということをしっかりやっているのであれば私もいいと思いますので、こういうなるべく皆さんがいい状態で仕事ができるような環境をつくっていただきたいと思います。お願いします。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにございますか。

高野委員。

○高野祐二委員 今、上代委員、金森委員もおっしゃった件について、ちょっと踏み込んだ形のあれなんですけれども、職員のメンタル面での休職、これは1か月以上の方となっているんですけれども、実際それ以下の方で診断書を以て休まれている方というのは実際のどのぐらいいらっしゃるか、そういう方もいらっしゃると思うんですけれども、そこら辺。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○猪野一洋総務課主査兼人事班長 メンタル不調に限った話ということですね。

ここで1か月とくらせていただいたのは、メンタル不調の場合、ほとんど1か月未満の短期のお休みで復職ができますよという診断が出るケースが実はあまりないです。メンタル不調によってお仕事に來れる体調ではなくなるという方につきましては、比較的長期休職される傾向がございますので、短期の人を含めるともっと増えるということとはあまりないかなと思います。

○委員長（小金井 勉委員長） 高野委員。

○高野祐二委員 ありがとうございます。

あともう一点、すみません、今のことですけれども、今メンタル面のケアのあれなんですけれども、窓口になっているのは職員の方がされているんですか、第三者機関というか、そういうメンタルの相談窓口になられている方でいいですか、そこら辺をお伺いしたいんですが。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○猪野一洋総務課主査兼人事班長 いくつか相談窓口は用意しておりまして、まずは総務課の基本的には人事に携わる職員、あとは衛生管理者というこれは民間の会社にもいるわけですから、衛生管理者として本市でいうと保健師の2名、医療的な知識を持つ者から選任いたしまして、保健師につきましても相談窓口となっております。

あとはそれ以外にメンタル不調への相談ということでしたら、そういった産業医だとか、あとはそもそも内容によっては内部の職員に相談しにくいという方もいらっしゃるかと思いますので、外部の相談窓口、これは市が運営しているものではないんですが、千葉縣市町村職員共済組合だとか、あとは厚生労働省とかがそれぞれそういった相談を受ける窓口を開設しておりますので、そういったところを紹介するといったことも行っております。

以上でございます。

○委員長（小金井 勉委員長） 高野委員。

○高野祐二委員 ありがとうございます。

職員だと話しづらいところもあるかもしれませんが、できればそういうところの第三者機関ですか、そういったところを使っていただければなというふうに思います。

あともう一点なんですけれども、職員の研修についてなんですけれども、予算が前年からちょっと削られて減ってきているんですけれども、今現在職員の研修なんですけれども、そこら辺は十分足りているような感じなのでしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○猪野一洋総務課主査兼人事班長 予算上は金額は減額になっているんですけれども、これは決して行くことを絞っているというわけではなくて、コロナ禍以降なんですけれども、いわゆるオンラインの研修だとか、そういったものが増えてきておりまして、そういったものを活用することによりまして、基本的には往復の費用も少なくて済みますし、あとは一般的には研修そのものの費用も研修の行く先に支払うんですけれども、一般的には場所代がかからなくなるだとか、そういったことがございますので、そちらに払う負担金も減額、比較的安い傾向がありますので、そういったものを活用することによりまして、予算の面

では抑えることができているのかなというふうに考えております。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにございますか。

北田委員。

○北田宏彦委員 選挙管理委員会に一点確認させていただきます。

直近では衆議院選挙、去年は参議院選挙が7月に、参議院選挙の場合3年ごとなんだけれども、7月に行われることになると思うんですが、各投票所の空調の環境について把握をされているのかどうかお伺いしたい。エアコンであるとか暖房器具の状況について教えてくださいたいと思います。

というのは、夏場、7月の選挙とかだと、非常に暑くてエアコンがない投票所も地区の公民館等を利用されていると、そういう場所も結構多いので、そうしますと一般の投票所の管理者、立会に出ていらっしゃる方、あるいは職員も派遣されている中で、非常に長時間そういう状況の中で拘束というか、そこにいなきゃいけないということで非常に大変だという話も聞いておりますので、そのへんについてどのような認識をされているのか伺いたいと思います。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○高橋和也総務課副課長兼選挙管理委員会書記長 選挙管理委員会としまして、今市内18か所に設けております当日投票所の空調関係の状況については把握をしてございます。

昨年7月に行われました参議院選挙につきましては、非常に暑い酷暑の中での選挙執行ということで、主に体育館等につきましてはエアコン等が今現状ない状況でございますので、そういったところに従事する地元の管理者、立会人の方であるとか、私たち職員従事者の熱中症対策といたしまして、冷やした飲物を配るような対策でございますけれども、氷で冷やした飲物を配るような対応をしております。冬場に行われる選挙におきましては、空調がないところについては基本的にストーブを設置しております、そういった中で寒さ対策をしているところです。

あと白里地区にある汐浜公民館につきましては、ここは空調がなかったんですけれども、事務従事者からもだいたい夏場は暑くて冬場は寒いというところで話がございまして、地元の方たちとお話をした中で、地元としても空調があったほうが良いというところがございまして、そういった空調を設置していただいて、市のほうとしてはそちらについての利用料という形で負担をするということで調整をしたりということが対策として取っていると

ころでございます。

以上でございます。

○委員長（小金井 勉委員長） 北田委員。

○北田宏彦委員 もちろん期日前投票を含めての投票率の向上というのも非常に重要であるけれども、立ち会われる方の環境についても把握されているということですが、特段の配慮をしてあげる必要があるのかなと思います。

投票時間等についても短縮であるとか、そのへん含めて考えられているのかどうか伺いたいと思います。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○高橋和也総務課副課長兼選挙管理委員会書記長 今回の衆議院選挙におきましても、期日前投票で投票された方の割合が50パーセントを超える割合となっておりまして、当日と期日前、当日は雪、悪天候というところも影響としてあったかと思えますけれども、こちらが逆転を既に行っている状況にもなっております。県内におきましても、主に南部のほうにつきましては、既に投票時間の短縮ということで取り組んでいる自治体もございまして、郡内の中ではまだ短縮をしているところというのは出ておりませんが、そういったところにつきましては、今後選挙管理委員会としても検討していかなければいけないという認識はございますので、引き続き郡内の状況等、情報交換等しながら検討を進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（小金井 勉委員長） 北田委員。

○北田宏彦委員 先般の衆議院選挙においては天候の影響もあって、土曜日、最終日の期日前投票がものすごい非常に多かったように思います。駐車場も一時的にほぼ満車の状態で入場待ちも結構出たということなので、それは天候次第という面はあるものの期日前投票、全体的に50パーセント超えたということを考慮して、期日前投票所の今回中央公民館の講堂が利用できなかったという面もあるのかもしれないけれども、期日前投票所のスムーズな投票ができるように、そんなに混雑しないような何かそんな取組も考えていただければと思います。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにございますか。

黒須委員。

○黒須俊隆委員 5ページですけれども、職員研修で市の独自で講師派遣をすると先ほど説明ありましたが、一体何をするのかお答えください。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○猪野一洋総務課主査兼人事班長 実際研修の具体のメニューにつきましては、まだ令和8年度に向けて検討をしているところではございますが、過去に行ったものとしては、女性職員向けの女性活躍推進研修ですとか、あとはメンタルヘルスに関わる研修などを実施しております。あとは社会情勢上、今話題に上がることが多いのがいわゆるカスハラというものがございますので、そういった職員のニーズが高くて実習的になるメニュー、ただ費用の面からもいくつものメニューを行うことができないので、そういった中から職員にとって有用になるものを選んで実施していきたいと考えております。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 これは大体1回分で講師に20万払うと、そういうことなんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○猪野一洋総務課主査兼人事班長 回数によるんですけれども、これは1日実施して、例えば午前、午後だとか、そういった2回に分けて実施するといったものでこのぐらい、それからこれ以上ぐらいかかることが一般的です。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 19ページですが、報酬の一番上のところで特別職の報酬等審議会委員報酬と、あと委員分の費用弁償とありますが、これは具体的にどのようなことを考えているのかお答えください。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○猪野一洋総務課主査兼人事班長 特別職の報酬等審議会委員会につきましては、市長、副市長、教育長、特別職及び市議会議員の皆様の給料、報酬等の額につきまして、妥当かどうかだとか、そういったものを審議いただくための審議会なんですけれども、この審議会自体が前回の開催が平成27年度ということで10年たっています。実は10年前につきましては、市議会議員の皆様の報酬につきましては増額の答申がありまして、そこで対応になって、それでも10年たっているのと、あとは特別職、市長、副市長、教育長につきましては、一応私が調べる限りですと、市になってからは1度も変わってないという状況になってござい

ます。

昨今の物価上昇の状況等に鑑みまして、特別職及び市議会議員の皆様の報酬が妥当かどうかを10年間少なくとも審議会自体を開催していませんので、それが妥当かどうかを審議いただくタイミングなのではないかなと思ひまして、審議会の報酬と費用弁償を今回予算に計上させていただいたところでございます。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 23ページ、4ページですが、一般質問だったかどこか忘れましたが、佐久間議員が本市が人口当たりの職員数が少ないと言っていましたけれども、これは実際どうなのか、もちろん大きな自治体と違うと思うので、5万人程度の自治体とか5万人以下の自治体で人口当たりの職員数とか、そういう何かデータがあるのだったら、なければ結構です。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○猪野一洋総務課主査兼人事班長 まず、国が行っているそういった統計的なものの一つで、類似団体と呼ばれるものの中で、人口10万人当たりに落とし込んだときの職員数の割合が類似団体の中で多いか少ないかといった調査はあるんですけれども、千葉県で言いますと大網白里市の類似団体になるのが館山市、いすみ市、勝浦市になります。その中でも人口規模の増減はあるんですけれども、その中で比べますと割合で言いますと本市はかなり少ないほうになります。

また、これは詳細な表は持ってこなかったんですけれども、すみません、持ってきてないんですけれども、そういった調査はあるんですけれども、例えば東金市と本市で同じような、病院とかがあるので、そういった特殊要素を除いた職員数で言いますと、東金市と大網白里市では大体60人から70人大網白里市のほうが少ない人数です。そういったような状況でございますので、決して5万人規模の市の中で本市が職員数が多いか少ないかと言われるれば、多いということは決してないかなというふうに思います。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 東金市は人数が60人、70少ないんですか、10万人当たりの職員数で言うとうなんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○猪野一洋総務課主査兼人事班長 今のは実人数です。東金市は本市と比較対象が違うので、

10万人当たりの人口での比較というのは、すみません、数字を持ってないです。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 館山、いすみ、勝浦、館山は類似かもしれないけれども、いすみと勝浦はかなり人口が少ないから人口少なくて、しかも勝浦とか館山とか山奥であったり、いろいろ職員が必要な部分も出てくると思うんですね。だから、人口当たりの職員数といったらいすみや勝浦が多くなるのは、それは何となく分かるんですけども、そういう意味で実質的な類似団体と比べて多いのか少ないのか、これは人事課だけの問題じゃないかもしれないですけども、ぜひ調べていただきたいと思います。

最後25ページ、何人かの委員から質問ありましたが、メンタル休暇の方が長期傾向にあるという話もあったんですけども、病気休暇、休職10人ですか、これは1か月以上が10人ですね。だから、2か月の人も3か月の人もいるから、そういう意味で例えば10人で何か月なのか、あとあるいはこの間の令和6、7、8と推移というんですか、そんなのはどうなんですか、増えているとか増えていないとか、そのあたりをお願いします。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○猪野一洋総務課主査兼人事班長 推移としましては、実際過去と比べてあまり変わってない。大体このくらいの方が、人自体は変わることはあるんですけども、統計上の人数で申し上げますとこのぐらいの人数で推移しているところです。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 ちなみに直近の何かデータで何人で何か月というのはないんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○猪野一洋総務課主査兼人事班長 直近で令和8年1月の時点で10人ということなんですけれども、この中では人数は変わってないです。その後復職した者がいるとか、長期休職に入った者がいるというので、この時点から2か月がたっていますけれども、そこでは増えたり減ったりしてないです。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） よろしいですか。

北田委員。

○北田宏彦委員 ハラスメントについてなんですけれども、カスタマーハラスメント、これについてもさっき研修の中でそういう研修を受けているということなだけで、具体的な話として、よく銀行とか行くとあなたのこういう行為がカスハラに該当しますよという

大きなポスターを掲示して、それによってある程度の抑止効果もあるのかなと思うし、あと今現在本市ではカスハラに該当するような事案があった場合はどのような仕組みで対応されているのか、私かねてから思っているのは、総務課長とかが渉外担当を兼ねて担当課が当初対応していて、これでカスハラに該当するような事案だということであれば渉外担当の総務課長がそこに出てきて法的な対処を含めての話をするとか、渉外担当というのは本市はいないと思うので、あるいは前は地域づくり課に警察官上がりの方々が配置されていたのかと思うんだけど、そういうような人材というものが必要なんじゃないかなと思います、そのへんどう考えているんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○田邊哲也参事（総務課長事務取扱） カスハラ現在の体制でございますけれども、例えば庁舎内とかでそういうハラスメント的な発言をする方というのは、実際のところまれに來ることがあります。その場合ですけれども、私あまり前面に出てあれしてないので、あれなんですけれども、財政課のほうで庁舎管理規則というのを定めております。その中で喧騒にわたってみたりであるとか、無理強いするであるとか、そういったような発言をする人に対しましては、その発言の停止を求めるであるとか、最悪、庁舎への退去命令というふうなところもございますので、そういった中で対応していると、そういった退去命令に対しても従わないというようなケースについては、警察のほうに連絡をいたしまして対応を図るというふうなことで行っていると、年間1回あるかないかぐらいで、警察官の方には庁舎のほうに来ていただくというふうな事例は今のところはございます。

今後は北田委員言ったとおり、ただそれだけでいいのかという部分もありますので、組織全体としてハラスメント対策というのは改めて見直していきたいなというふうに考えてはおります。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 3つほどあるんですけれども、7ページ、こちらの使用料が前年度と比べるとだいぶ上がっているんですけれども、この理由は何でしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○小倉博明総務課主査兼情報政策・業務改革推進班長 こちらは使用料のほうで3,000万円程度上がった理由といたしましては、全庁ネットワークシステム、庁舎内のシステムのサーバーやネットワークキットが経年劣化やサポート期限を過ぎて機器の一部更新を必要とす

るため、この経費を計上いたしました。

○委員長（小金井 勉委員長） 猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） ありがとうございます。

そうしたら次に23、24ページ、こちらのほうなんですけれども、前に総務のほうから適正な定員計画というのを配られておりまして、これだとラスパイレス指数の状況に応じた人件費を抑えながら適正な人員体制にしていきたいということが書かれているんですが、このラスパイレス指数はいわゆる自治体での給与とかを比べるときに使われるようなものだと思うんですが、これが県の平均が100.1パーセント、これは令和6年のしか情報がなかったんですけれども、その中で本市は97.7とかで、これが県内でも市でいけば最低の数字になっているようなので、これがあるとなかなかたしか入る人も少ないし、入ってもすぐ辞めちゃうというようなことをちらっと伺っていたんですけれども、ラスパイレス指数を向上させていかないと、比較されたときにうちの市はあまり待遇よくないというふうにされてしまうのかなと思って、そのへんの何か方策はあるのでしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○猪野一洋総務課主査兼人事班長 まず、ラスパイレス指数なんですけれども、これは国家公務員の給与との比較になっておりまして、国家公務員の給与を100としたときに学歴と勤続年数を基にそれが国家公務員の学歴、勤続年数がそのまま市町村に当てはめたときに100と比べてどうかという数字になりまして、それが実際100を切っている状況でございますが、それにつきましては国家公務員と比較して待遇が悪いとか、別の給料表を使っているというわけではなくて、たまたまとある勤続年数のところの方の本市でいう職位がたまたま低いという方が国家公務員において多くのボリュームを占めていたりすると、それによって数値がかなり増減してしまうとか、あとは逆に国家公務員の方といわゆる市町村の職員で課長職に上がる方の学歴の違いだとか、そういったものもあるので、一概に高い、少ないというのは比較はできないと思うんです。

逆に均衡の原則というものがあって、国家公務員よりも高くなるというのは問題視されるんですけれども、低くなる分につきましてはそういった特殊要因もありますので、それに対する対策というのを特別取るとは難しいかなと思うんですけれども、今後人事院勧告だとか千葉県の人件委員会（注）の勧告に基づいて、国家公務員だとか他市町村とのバランスの取れた給与体系にしていく必要はあるかなというふうに考えております。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 単純に国家公務員と比べるだけの話ではないと思うので、県内の市町村で比べて、市町村で下から4番目、令和6年、令和7年は多分まだ出てないかと思うんですけども、市だけで比べると一番下というのは、県内の市町村と比べてあまりよくないというのはちょっと問題があるのではなかろうかなと、ただ、たしか中間層が少ないとラスパイレス指数は下がるんですよ。いわゆる年の人が多くて中間層が40代前後の人たちの人数が低いとたしか下がるというふうに何かになっていたと思うので、そのへんを含めて適正人員の見直しとかというのも考えてみて意識はしたほうが人事のほうから出ているものにはそんなふうに書かれていますので、これはちょっと見たほうがいいんじゃないかなと思います。

あともう一つこれは選挙なんですけれども、30、31とか、市長選があるんですが、最近いろいろな自治体で電子投開票システムというのを取り入れてやっていると、ただこれは入れるのにはお金がかかるので、一概には何とも言えないんですけども、ただ実際の運用に対してはかなり人員が削減できたり、特に投開票の最後の日、物すごい遅くまで時間帯皆さんやりますよね。あれがほとんどなくなるということで、働く方々には非常にいいというふうに言われているんですが、この電子投開票システムとかというのはどのように今考えていらっしゃるでしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○高橋和也総務課副課長兼選挙管理委員会書記長 国のほうでも何社かベンダーさんのほうでそういった電子投票のシステムをたしか認定をしてというところで、今後検証を進めていくというような動きになっているかとは思いますが。

本市の状況で言いますと、18投票区ございますけれども、地元の公民館等を借りたりというところもございまして、ネットワーク環境が構築が必要になったりというところがまず大前提としてあるかなというところと、システムで動かしていきますとどこか一つの投票所が共通投票所と言えるかどうかというのはいろいろあれですけども、システムが万が一不具合が起きたときに、今回の衆議院選挙のほうでみどりが丘地区が停電になりまして、そちらについてはパソコンを導入しまして名簿対照等を行っていたんですけども、そういったアクシデントが起きますと、急遽そこから手作業に切替えをしなければいけないと、手作業をするにしてもそれまで投票された方の記録をその時点で反映させないと手作業に切替えができないだとかというところで、いろいろ課題も正直問題なく動いているところ

についてはいいんでしょうけれども、そういったトラブルに迅速に対応できる体制であるかとかというところがどうしても課題としてあるのかなと思いますので、全国的に取り組んでいるところがあるというところは承知をしているところなんですけれども、そういった技術的な部分等の進展をよく注視してまいりながら、電子投票自体は職員の負担もかなり軽減されますし、投票結果もすぐに確定をすることができるということでメリットがあるというところは承知しておりますので、研究してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（小金井 勉委員長） 猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 完全にネットワークを全部をつなげてというのは多分なかなか難しいので、スタンドアローンでやっている、たしか四條畷市だったと思うんですけれども、また調べていただければと思うんですが、スタンドアローンでタブレットだけでやって、集計はUSBか何かでそれに入れて、それを全部集計するやり方をたしかやっていたと思うので、そういうものになればネットワークとか電源がその会場が落ちたとしても使えるようなシステムになるとと思いますので、研究していただければと思います。

特に人数が多い選挙じゃなく、こういう市長選みたいな少ない人数の人の中でやるほうがやりやすいであろうかなと思いますので、以上です。

よろしくをお願いします。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにございませんね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、総務課及び選挙管理委員会の皆様、ご苦労さまでございました。退席していただいて結構でございます。

（総務課 退室）

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、総務課、選挙管理委員会に関する予算の内容について取りまとめに入りたいと思いますが、昨年の指摘事項を副委員長、読み上げてください。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 令和7年度、総務課、①職員のメンタルヘルスも含めて健康管理に努められたい。②効率的な事務事業の確立に向けワークスタイルの改善やDXのさらなる推進を検討されたい。

選挙管理委員会、期日前投票を含め投票率の向上に努められたい。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、皆様ご意見ございませんか。

どうでしょうか、ありませんか。

北田委員。

○北田宏彦委員 昨年と同様の内容で、先ほど来のお話の中身が含まれているのかなと思います。

○委員長（小金井 勉委員長） 輪島委員。

○輪島美津江委員 先ほど選挙管理委員会のことで、北田委員もおっしゃっていたんですけれども、期日前投票で今回いろいろアクシデントがなかなか市民の人からも雪の中、期日前投票で1時間も並んでしまったとか、足の悪い方とか、そういう方にも配慮が欲しかったというご意見もいただきましたので、そちらのほうも対応していただけるようお願いしたいと思います。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小金井 勉委員長） 以上で総務課並びに選挙管理委員会の審査を終了いたします。
休憩をいたします。

（午前11時06分）

○委員長（小金井 勉委員長） 再開します。

（午前11時15分）

○委員長（小金井 勉委員長） 次に、秘書広報課を入室させてください。

（秘書広報課 入室）

○委員長（小金井 勉委員長） 秘書広報課の皆様、ご苦労さまでございます。

ただいまから令和8年度予算について審査を行います。

時間の関係もありますので、説明は簡潔明瞭をお願いいたします。

なお、説明、答弁の際は挙手の上、委員長の許可を求めてから発言してください。発言は座ったまま行っていただいて結構です。速やかに答弁が得られない場合は次に進めてまいります。早急に答弁ができる形を取っていただくことをお願いいたします。また、本日も必ずマイクの使用をお願いいたします。

はじめに職員の紹介をしていただき、続けて説明を開始してください。

それでは、よろしくお願いいたします。

○古内晃浩秘書広報課長 秘書広報課です。

私、課長の古内です。

隣にいますのが副課長の山田でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、これより着座にて失礼させていただきます。

はじめに当初予算説明資料の総括表についてご説明いたします。

1 ページをご覧ください。

秘書広報課における令和8年度当初予算額は歳入予算額合計148万8,000円、対令和7年度比40.9パーセント増になります。

続きまして、歳出予算額合計1,829万4,000円、対令和7年度比6.9パーセント増となっております。

次に、当初予算説明資料の歳入についてご説明いたします。

2 ページをご覧ください。

22款5項3目総務費雑入としてホームページ広告掲載料が33万6,000円、広報紙広告掲載料が115万2,000円、予算合計額148万8,000円、対令和7年度比43万2,000円、40.9パーセント増となっております。

増額の主な要因といたしましては、広報紙広告掲載料の1枠の料金を見直し、1か月当たり5,000円から8,000円に改定したことによるものでございます。

続いて、歳出の説明資料について概要を説明いたします。

3 ページ、4 ページをご覧ください。

広報広聴活動費でございますが、広報紙の発行及びホームページに関する経費として対令和7年度比124万8,000円、12.4パーセント増の1,127万8,000円を計上しております。

増額の主な要因といたしましては、13節使用料及び賃借料60万6,000円のうち、LINE拡張機能使用料として新たに45万3,750円を予算計上し、LINEでの情報発信をより利便性の高いものとするため、市が発信する情報の中から観光、子ども、イベントなど、必要な情報のカテゴリーを選ぶことで、欲しい情報だけを受け取れるセグメント配信機能を新たに導入するものです。

そのほか12節委託料1,026万9,000円のうち、広報紙制作・印刷・配布業務892万9,000円でございますが、令和8年度から契約の内容を見直し、印刷業務と新聞折込み業務を合わせ

て発注する方法に変更いたしました。

なお、令和7年度当初予算との比較で76万6,000円の増額となっております。

また、広報紙の発行部数につきましては、今年の1月号から100部減らし、現在1万4,000部としております。

次に、5ページ、6ページをご覧ください。

秘書事務費でございますが、市長交際費をはじめ秘書事務に関する経費として対令和7年度比2万6,000円、1.8パーセント増の149万3,000円を計上しております。

次に、7ページ、8ページをご覧ください。

渉外事業費でございますが、市表彰条例に基づく表彰関係に関わる経費のほか、山武郡市市町会負担金をはじめとする負担金に関わる経費で、対令和7年度比6万5,000円、1.3パーセント減の493万7,000円を計上しております。

次に、9ページ、10ページをご覧ください。

公用車管理費でございますが、公用車に関する経費として対令和7年度比3万4,000円、5.5パーセント減の58万6,000円を計上しております。

減額の主な要因といたしましては、令和8年12月、現公用車のリース契約を更新する予定としており、月額の前借上料が3万7,180円から3万1,900円に引き下がるものと見込んでおります。公用車につきましては、平成27年12月に現在の車両に切り替え、5年間リースの契約後、2年間おきに再リース契約を3回行い、現在令和8年12月16日まで再リース契約を結んでおります。今後の予定としましては、令和8年12月からさらに2年間、令和10年12月16日まで契約を結ぶ予定としております。

以上で秘書広報課の令和8年度当初予算の概要についての説明とさせていただきます。

○委員長（小金井 勉委員長） ただいま説明がありました予算の内容についてご質問等あればお願いいたします。

上代委員。

○上代和利委員 一点教えていただきたいんですが、3ページのLINEのセグメント機能追加の40万4,000円かな、何かそういうふうに言っていましたよね。それをSNSに関してはいろいろなことをやって頑張っていらっしゃると思うんですが、うちのほうのフォロワーというか、市の公式LINEのフォロワーとそういうセグメント機能をすることによって効果というのはどのようなことを見られるのでしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○古内晃浩秘書広報課長 現在大網白里市の公式のLINEのフォロワー数ですが、8,581となっております。今回導入予定でありますセグメント配信についてなんですが、まず現在本市ではLINEでの情報発信については費用は一切発生しておりません。

情報を発信する際に情報の内容に応じた区分をあらかじめこちらのほうで指定しまして、例えば子育て支援に関する情報とか、これは高齢者支援に関する情報とか、そういった紐づけをしまして、今度はLINEの受信側についても市が発信する情報を全て一緒に受信したくない場合については、あらかじめ受信したい部分の情報だけの分類を選択することによって必要なものだけを受け取ることが可能になるようになります。それによって、これから不必要と感じるLINEが情報がどんどん寄せられてきても拒否することもできるんですが、そういった拒否することを防ぐために必要な情報だけを受け取れる機能というものがメインとなります。

あとそのほかにも、今回導入する機能で今現在担当課がまずLINEの情報を作成しまして、秘書広報課で実際再度入力して、秘書広報課のほうで一括して情報を発信しているところなんですが、これについては今後各課から直接発信できるようにしたいと考えているところでございます。

そのほかにもあと災害時の安全対策課で防災メールというのを発信していると思うんですが、今現在こちらのメール内容と同じものをLINEでわざわざ入力して秘書広報課で発信しているところなんですが、これが防災メールがLINEと連携して自動的に防災メールの内容をLINEで即座に発信することが可能ということで、それに伴って総合的に鑑みてLINEの登録者数もどんどん増えていくのではないかと考えております。

以上となります。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにございますか。

黒須委員。

○黒須俊隆委員 3ページ、4ページなんですが、今回から広報紙制作、印刷と配布を一緒にしたと、まとめたと、892万9,000円になったという説明をされたんじゃないかと思うんですけれども、これまで部数は100部減らしたということなんですけれども、折込み部数とかもおそらく減ってきているんじゃないかと思うんですけれども、でも昨年の決算がまだ昨年は出てないから分からないですけれども、当初と比べると高くなっていますよね。これはどういうものなのかお答えください。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○古内晃浩秘書広報課長 こちらにつきましては、当初予算を要求する際に当然数社から見積りを徴収しまして、その結果予算要求で計上させてもらっているんですが、近年物価上昇とか人件費の増加でそれに伴って印刷費用、そして新聞折込み費用、こちらのほうも上がっていると考えております。

以上でございます。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 具体的な折込み部数は昨年と今年で何部、何部なんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○山田直美秘書広報課副課長兼秘書広報班長 昨年度の末で9,300でした。現在の予算では8,200部で予算計上しております。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 普通に考えると1,100部も、9,300、8,200、この折込みすごい激減ですよ。折込み額というのはすごく高い。特に千葉県は高いというのは有名ではあるんだけど、今までも高かったわけですよ。

そういう意味でこれだけ折込みが減って、しかも印刷と折込み、配布とを一緒に業務発注するにしてはすごく高過ぎるなという、これは入札なんですかね。入札で実際はもうちょっと安くなる可能性はあると思うんですけども、それにしてもこれだけ激減しているのにこれだけ高くなるというのは何かちょっとおかしいなという、これは単純に見積り取ってやるのではなくて、これは他の自治体だとか実勢価格だとか調べてやるべきだというふうに思います。これはちょっと高過ぎるなという感じがします。

また、併せて広報紙郵送料は相当減っているんですけども、これは郵送部数が減ることなのだろうと思うんですけども、郵便代も高くなっている、郵送代が高くなっているにもかかわらずこれだけ総額が減っている理由をお願いします。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○古内晃浩秘書広報課長 広報紙の郵送につきましては、委員会等でもご指摘を受けているとおりなるべく減らすようにという話もございましたので、秘書広報課としてもどうしても近場で取りに行けない方とかに身体的に不自由な方のみお送りしたいと考えておりまして、広報紙の継続確認を毎年おこなっております。毎年2月と3月に広報紙を郵送する際に継続確認書も併せて同封しまして、連絡がない場合は郵送を止めております。

その際に継続したいという方が申出がありましたら、あらかじめ改めて広報紙を備え置きしている場所、スーパーとかにも置いておりますということでご案内しまして、なるべく自宅の身近な利用する場所で受け取っていただきたいということでお願いしまして、その結果減るような形になっております。

以上でございます。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 先ほどの広報紙の印刷・配布業務を一緒にすることによって入札参加者というのは何か変わるんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○山田直美秘書広報課副課長兼秘書広報班長 一緒にすることによりまして、折込み業務のみを行っている業者のほうを除かれるようになります。今回一緒にした経緯なんですけれども、折込み者のほうが新聞業者との折込み部数の数値を実際確認してなかったというところがありまして、それを防ぐために印刷業務と折込み業務を一緒にすることによりまして、新聞業者との連携を密に取りまして、他市町村にお配りしていた部数を正確に把握することがメリットになりました。

以上でございます。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 私がかかなりしつこく聞いてきた問題で、それは非常にいいことだとは思いますが、結果として高くなったら元も子もないじゃないかと思って、そういうふうに思いますよね。折込みというのが何でそんなに折込みが高くなるのか、印刷が高くなるのか分からないですけれども、部数が減ってこれだけ高くなるというのは甚だ疑問なんですけれども、これはこれで結構です。

もう一つ9ページ、10ページなんですけれども、公用車のリースは残リースで毎回再契約しているんじゃないかと思うんですけれども、今回何年目になって、それで実際に総計距離として何キロ走っているんですか。去年1年間何キロ走ったんですか、お答えください。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○古内晃浩秘書広報課長 令和8年2月末時点で使用年数ですが、10年と2か月になります。年間の走行距離になりますが、令和6年度では1万2,218キロ、令和7年度2月末現在になりますが、令和7年度では9,899キロとなっております。現在の走行距離の合計ですが、10万7,274キロとなっております。

以上でございます。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 だいぶ乗ってはいますけれども、これだけ丁寧に整備しているので、次は今度は20万キロを目指してぜひ頑張ってください。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにございますか。

猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 私からは一点です。

今有料広告が増えて今回予算が増えた要因は分かりました。持続可能な財政のところで有料広告事業の導入拡大というふうに言われているんですが、広告以外の有料広告はどのように考えているのでしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○古内晃浩秘書広報課長 現在秘書広報課で所管しています自主財源の確保ということで有料広告なんですが、こちらはホームページ広告掲載料と広報紙の広告掲載料との2点になります。

今回広報紙の広告掲載料については、先ほど申し上げたとおり近隣の自治体の状況などを確認しまして引上げをさせてもらいました。ただ、ホームページの広告料についてはかなりニーズが少なく、どこの市町村も同じだと思うんですが、低いことからこれ以上の引上げ等の考えは今のところはありません。

以上でございます。

○委員長（小金井 勉委員長） 猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） ほかに有料広告というのは考えればいろいろあると思いますので、これは秘書広報課だけの話じゃないと思うんですが、今後も有料広告、いろいろほかの事例とかを調べて広告費を少しでも多くもらえるようにしてください。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 北田委員。

○北田宏彦委員 私のほうからは、先ほど黒須委員のほうからも指摘のあった広報紙の印刷、配布の一括発注についてなんですが、一括発注に関しては見積りを取り付けたということなんですけれども、これまでどおりの分離の発注は見積りは取り付けてあるの。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○古内晃浩秘書広報課長 分離のほうの見積りは徴してございません。

この契約なんですけど、もう既に令和8年度につきましては債務負担行為を設定しています、令和7年中に入札のほうを実施しております。結果としては、予算額要求より落札なんですけど、85.65パーセントで落ちております。これで契約することになるんですけど、これでも令和7年度と8年度を比較すると単価は若干上がっているような形になっております。以上でございます。

○北田宏彦委員 道理的に考えれば一括発注して単価が少しでも安くなる、あるいは上昇分が緩和されて今までと同額で収まるとか、それが合理的な考え方だと思うんですけども、今言われたような形で根拠とされているなら、それはそれでいいのかもしれないけれども、メリットが当然あるからこのような形にされるのしょうから分かりました。いいです。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかに。

金森委員。

○金森浩二委員 一点お願いします。

今回着ぐるみクリーニング代が計上されていると思うんですけども、これは逆に言うと今までクリーニングしてなかったのかなということを感じたことと、あとは着ぐるみがいくつあって、年間どれぐらい稼働しているのかなというのをもし分かれば教えてほしいです。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○古内晃浩秘書広報課長 こちらの着ぐるみなんですけど、マリンになります。現在3体あるんですけど、実際は2体しか利用されておられません。なので、2体分のクリーニングを受けているんですけど、こちらについては令和7年度までは企画政策課のほうで予算を計上させていたところなんですけど、令和8年度からは秘書広報課で予算のほうを組んでおります。

年間の使用料なんですけど、私調べたところ25回利用されている形になります。

以上でございます。

○委員長（小金井 勉委員長） 金森委員。

○金森浩二委員 クリーニングをしてないとなるとというのがすごい心配だったんです。何でかという、あれは中に入っているとすごい夏とか暑いんですよ。とんでもなく汗かくので、これはちょっと心配だったのと、あとはマリンちゃんというのは大網白里市の看板ではありますので、この活用が増えるということはすごく活性化とかにも使えるのだろうなというふうに思うので、有用な使い方をしてもらえればなと思って質問させてもら

いました。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小金井 勉委員長） ないようでしたら私から一点、先ほどの広報紙の件なんですけれども、見積りは何者からいただいて、入札のときに何者から応札があったのか、その点について。

○古内晃浩秘書広報課長 見積りのほうは3者からいただきました。予算措置するときに真ん中の見積りを参考に予算計上させていただきました。実際入札なんです、2者から参加がございました。

以上でございます。

○委員長（小金井 勉委員長） ありがとうございます。

秘書広報課の皆様ご苦労さまでした。退席していただいて結構です。

（秘書広報課 退室）

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、秘書広報課に関する予算の内容について取りまとめに入りたいと思いますが、昨年の指摘事項を副委員長、読み上げてください。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 令和7年、秘書広報課、①広報紙の配布については実態を把握し、経費削減の方策を検討されたい。②行政情報の発信についてはSNS等を活用し、内容を充実されたい。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、皆様ご意見等ございませんか。

去年も昨年の一緒のことですけれども、何かこれに追加とかこの修正とか等あれば一言でもよろしいので、何か変わり映えないと、どうですか。

黒須委員。

○黒須俊隆委員 今、北田委員から印刷、これまでの発注どおりの見積りを取ったのかという質問があって、取ってないという話で、そういう意味ではまだまだ広報紙の経費節減の方策にしっかりと対応してなかったということが今回分かったということで、これはより何か単価が高くなるのは部数が減ればしようがないと思うんですよ。だけれども、そうじゃなくて今回は総額が上がっているじゃないですか、折込み数というのは大体1部幾らみたいな感じで最終的にやるので、印刷は100部や200部減ったって安くなるものじゃないけれども、折込みが相当安くならなきゃいけない上に一括発注なんだから相当安く、ダブルで

安くならなきゃいけないにもかかわらず今回は高くなった。しかもそれが複数年度なんですか、それでだから今回の分は去年の入札のまま今回そのまま計上されているということで、非常に納得はいかない。そのあたりを委員長、副委員長に少し考えてもらえれば。

○委員長（小金井 勉委員長） 私も気がついたのは、見積りの段階で2者から見積りをいただいていると言ったけれども、入札の段階で86パーセントというお答えですけれども、見積りも2者、応札も2者、見積り3者と言ったけれども、それも真ん中を取ったというけれども、真ん中を取ると、だから3者という、印刷会社は近隣でも結構あるので、やはりあと応札が2者しかないというのもちょっと疑問符だし、その範囲を広げて、今、黒須委員が言ったように、これに書いてあるとおり広報紙配布云々は経費が発生するという意味だから、高くなったということ自体が部数が減って、それで一括発注をして、なおかつじゃなくて高くなったということに対しての懸念材料というのが客観的には持たれますよね。確かに客観的には懸念材料が持たれますので、もう少ししっかりと踏み込んだ削減に向けての努力をしていただきたいと思います。

ほかにございますか。

（「正副委員長に一任」と呼ぶ者あり）

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、以上で秘書広報課の審査を終了いたします。
暫時休憩いたします。

（午前 11 時 48 分）

○委員長（小金井 勉委員長） 再開いたします。

（午後 1 時 00 分）

○委員長（小金井 勉委員長） 企画政策課を入室させてください。

（企画政策課 入室）

○委員長（小金井 勉委員長） 企画政策課の皆様ご苦労さまです。

ただいまから令和8年度予算について審査を行います。

時間の関係もありますので、説明は簡潔明瞭をお願いいたします。

なお、説明、答弁の際は挙手の上、委員長の許可を求めてから発言してください。発言は座ったまま行っていただいて結構です。速やかに答弁が得られない場合は次に進めてまいります。早急に答弁ができる形を取っていただくことをお願いいたします。また、本日も必ずマイクの使用をお願いします。

はじめに職員の紹介をしていただき、続けて説明を開始してください。

それでは、よろしくお願いいたします。

○飯高謙一企画政策課長 企画政策課でございます。

本日の出席職員の紹介をさせていただきます。

私の隣におりますのが副課長の久保です。

○久保 崇企画政策課副課長 よろしくお願ひします。

○飯高謙一企画政策課長 次に、政策推進班長の齋藤主査です。

○齋藤友康企画政策課主査兼政策推進班長 齋藤です。よろしくお願ひします。

○飯高謙一企画政策課長 入口に近いのが主査の漆島です。

○漆島佳太郎企画政策課主査 漆島です。よろしくお願ひします。

○飯高謙一企画政策課長 最後に私、課長の飯高です。

以上4名により説明させていただきます。よろしくお願ひいたします。

以後は着座にて説明させていただきます。

それでは、令和8年度当初予算の概要について説明させていただきます。

お手元の資料1ページをご覧ください。

はじめに令和8年度当初予算説明資料総括表でございます。

上の表、歳入の合計額は10億2,646万7,000円で前年度と比較し2億8,421万5,000円、38.3パーセントの増額となります。

増額の主な要因といたしましては、令和7年度のふるさと応援寄附金の受入れ実績を踏まえ、表の上から3番目の一般寄附金について対前年度比3億円増の10億100万円を予算計上したことが挙げられます。

次に、下の表、歳出の合計額は5億8,727万2,000円で前年度と比較し1億1,029万1,000円、23.1パーセントの増となります。

増額の主な要因といたしましては、ふるさと応援寄附金の増額を見込んだことによりその必要経費となる表の一番上、ふるさと応援寄附金促進費について対前年度比9,444万3,000円増の5億円を計上したことが挙げられます。

3ページをご覧ください。

令和8年度の歳入予算についてご説明いたします。

表の上から2番目、千葉県立地企業補助金は企業誘致を推進するため、令和8年度に実施予定の産業用地検討調査、いわゆる可能性調査についての補助金でございます。

上から３番目、就業構造基本調査委託金から下から７番目、千葉県毎月常住・年齢別・町丁字別人口調査委託金までの13項目のうち、当初予算に計上している５項目は国・県が実施する統計調査に係る委託金でございます。

下から３番目、コミュニティバス運賃収入は増穂地区、白里地区及び４月から新たに運行を開始する瑞穂地区コミュニティバスの各運行事業者から納入される運賃収入であり、令和８年度は過去の収入実績のほか、新規路線による収入増を見込み対前年度比122万4,000円増の692万1,000円を予算計上いたしました。

一番下の地域公共交通確保維持改善事業納付金はコミュニティバス運行事業に係る国庫補助金であり、国から地域公共交通活性化協議会へ交付された後に当協議会から市に納入されるものでございますが、令和８年度は対前年度比159万円減の586万8,000円を予算計上いたしました。

続きまして、歳出予算についてご説明いたします。

５ページをご覧ください。

ふるさと応援寄附金促進費でございますが、本事業ではふるさと納税の受入を促進するため、寄附者に提供する返礼品の調達、配送、寄附金受領証明書の発送、ワンストップ特例申請の受付などの業務を行っております。

なお、令和８年度はふるさと応援寄附金の歳入予算を増額したことから、寄附の受入に必要となる歳出予算も増額となっております。

７節の報償費は、寄附者からチョイス P a y ポイントや楽天トラベルクーポンで決済を受けた加盟店に対し、その決済代金をふるさと納税の返礼品代として支払うため、所要額を予算計上しております。

11節の手数料にはふるさと納税の受入れ口となるふるさと納税ポータルサイトの利用料やクレジットカードによる寄附に係る決済手数料などを計上しております。

12節の委託料は寄附の受付から返礼品の調達、配送管理、コールセンターなどの事務代行に必要となる経費を予算計上しております。

13節の使用料及び賃借料は債務負担行為を設定しているふるさと納税自販機のリース料を予算計上しております。

次に、６ページをご覧ください。

鉄道利便性の確保事業でございますが、本事業では千葉県ＪＲ複線化等促進期成同盟及び東金線の活性化と利便性向上を目的としたＪＲ東金線活性化推進協議会、こちらが旧名称

は東金線複線化促進協議会で昨年の総会で名称変更となりました。これらの負担金を予算計上しております。

令和8年度の本事業の予算合計額は対前年度比211万2,000円減の1万7,000円でございます。

減額となった要因といたしましては、JR求名駅のバリアフリー化に係る特別負担金の予算計上時期が工事が完了する令和9年度となったため、令和8年度は特別負担金の予算計上がなくなったことが挙げられます。

次に、7ページをご覧ください。

地域公共交通確保維持改善事業でございますが、本事業では地域公共交通活性化協議会の運営のほか、令和5年度から開始したバス通学定期運賃の補助を行っております。

令和8年度の本事業の予算合計額は対前年度比208万5,000円増の828万3,000円でございます。

増額の主な要因といたしましては、令和7年度の実績を踏まえ利用者が増加傾向にあるバス通学定期運賃補助の予算額を250万円増加したことが挙げられます。

次に、8ページをご覧ください。

コミュニティバス等運行事業でございますが、本事業では市内の公共交通不便地域の解消と市民の移動手段を確保するためコミュニティバスの運行を行っております。

令和8年度の本事業の合計予算額は対前年度比2,419万円増の5,786万7,000円でございます。

増額の主な要因といたしましては、増穂地区、白里地区、いずれのコミュニティバスにおいても燃料費や人件費の高騰により運行経費が増えているほか、令和8年4月から新たに瑞穂地区コミュニティバスの運行を開始することが挙げられます。

次に、9ページをご覧ください。

総合計画等策定事業でございますが、本年3月をもって第6次総合計画後期基本計画の策定が完了することから、令和8年度の本事業の予算合計額は対前年度比66万4,000円減の3万7,000円となっております。

次に、10ページをご覧ください。

企画事務費でございますが、令和7年度本事業予算合計額は対前年度比11万6,000円減の3万2,000円でございます。

減額の主な要因といたしましては、市のキャラクター、マリンに関する事務が令和7年5

月から秘書広報課に移管されたことが挙げられます。

次に、11ページをご覧ください。

移住定住関係人口創出事業でございますが、本事業では本市への移住、定住の促進を図るため、結婚を機に本市に居住する夫婦に対し新生活に必要な住居費等を補助する結婚新生活支援事業を実施しております。また、令和8年度からは空き家バンクを活用した移住支援事業や市外在住の学生が行うまちづくり活動を支援する関係人口創出事業を新たに開始したいと考えております。

本事業の予算合計額は結婚新生活支援事業では補助金の交付対象者数の増加を見込んだことや新規事業の開始により対前年度比241万2,000円増の691万2,000円となります。

次に、12ページをご覧ください。

道の駅整備検討事業でございますが、本事業では白里地域の活性化を目的として道の駅の整備について検討を行っております。令和8年度本事業の予算合計額は前年度と同額の38万6,000円となります。

なお、予算内容は道の駅整備検討委員会の開催に伴い支給する各委員への報酬と交通費でございます。

次に、13ページをご覧ください。

企業誘致推進事業でございますが、本事業では本市の企業誘致を推進するため必要な施策を実施しております。

なお、令和8年度は企業誘致に必要な産業用地の整備について、その可能性を調査するため、調査に係る委託料の予算を計上するとともに、企業誘致に関する各種情報収集を目的として日本立地センターの会員となるため、所要の負担金を計上したことにより本事業の予算合計額は1,191万7,000円となりました。

次に、15ページをご覧ください。

基幹統計費でございますが、本事業では統計法に基づく各種統計調査や千葉県の単独調査などを実施しております。令和8年度の本事業の予算合計額は対前年度比2,186万4,000円減の178万8,000円でございます。令和8年度は国勢調査が終了したことから昨年度よりも予算額が減額となっております。

以上が企画政策課の当初予算の概要でございます。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（小金井 勉委員長） ただいま説明がありました予算の内容について質問等あれば

お願いいたします。

北田委員。

○北田宏彦委員 私のほうから13ページの企業誘致推進事業、これについて具体的に内容を教えていただけますか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○久保 崇企画政策課副課長 こちらのほうは令和8年度に千葉県企業立地補助金を財源として、市内に産業用地を整備し企業を誘致することが可能か判断するため、産業用地の整備に関する事業採算性や企業の立地需要、概算事業費、整備計画案に対する企業の意向などを調査する内容となっております。

○委員長（小金井 勉委員長） 北田委員。

○北田宏彦委員 工業用地をつくるとか、そういう意味合いですか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○久保 崇企画政策課副課長 おっしゃるとおりでして、工業団地を整備する可能性なんですけれども、これにつきましてはこれまで実施してきましたサウンディング型市場調査や各事業者との個別ヒアリングによりますと、企業立地を誘導するための大前提としてインフラ等が整った産業用地が整備されていることが挙げられております。このため市としては、本格的に企業誘致を進めるのであれば産業用地整備も一つの手段として検討が必要と考え今回予算計上させていただきました。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかに。

金森委員。

○金森浩二委員 私も今同じところ、企業誘致というところで、先ほど市長の説明の中でおっしゃっていたのがスマートインター近辺の調査だ何だという話をされていたと思ってですね、だから、これはそこに対しての可能性をというところでよろしかったですか、それとも全域をという話なのかお願いします。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○久保 崇企画政策課副課長 こちらにつきましては、現在産業用地の適地となる候補地、圏央道周辺を含めまして候補地を整理しておりまして、最終的に今回行う調査の中で整備予定地を1か所に絞りまして調査をする予定でございます。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかに。

上代委員。

○上代和利委員 11ページですけれども、一番、企画さん今大切な事業なのかなと認識しております。

この移住定住関係人口創出事業に関して、今年度691万2,000円ございます。新婚新生活支援補助金だとか移住支援事業補助金というのがありますが、今までの実績、また今年の事業展開というか、どのように考えているか教えてください。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長どうぞ。

○飯高謙一企画政策課長 まず、実績なんですけれども、令和6年度では9組、こちらは9組なので、18人が対象になるんですけれども、そのうち13人の方が市外から来ていまして、72.2パーセントが市外から来ている状況ですので、今後も周知を図っていく中で、できるだけ多くの方に活用していただいて、本市のほうにできるだけ住んでもらえるということで、周知につきましてはホームページのほか広報等、あとは新婚の方ですと不動産屋さんのほうでアパートを借りたりとかしますので、あとは市民課のほうでということで、不動産協会だとか宅建協会のほうにこういう制度がありますよということで周知を図っているところでございます。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにありますか。

黒須委員。

○黒須俊隆委員 7ページ、バス通学運賃補助が利用者が増加傾向だというお話がありましたが、現在は何人くらいがやっているのか、基本的には1年やっているのか、それとも何か月という、そういう単位の人もあるのか、あと利用者がなぜ増加傾向なのかという理由を可能な限りお願いします。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○齋藤友康企画政策課主査兼政策推進班長 実績になりますが、令和6年度の実績につきましては219件、588万5,110円となります。定期的内容ですが、定期的内容が何種類かありまして、まず1か月、2か月、3か月、6か月と、あと学期定期というのがあります。1、2、3か月の学期ごとに買える定期というのがありますので、それぞれ皆さん利用に応じて利用されているというような形になっております。

増加傾向につきましては、そういった周知が進んできたということを我々当課としては考えているところでございます。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 219件というのは、例えば学期定期だったら3回同じ人が使っているんですか、使えることになっているのか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○齋藤友康企画政策課主査兼政策推進班長 使うことは全く問題ありません。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 219件というのは、だから1か月の人も3か月の人も入っている件数ですけども、延べになるわけですね。実際は使っている人は何人くらいというふうに見ているんですか。あとは合計何か月分とか、そういうのが出ていけば219で割ると大体分かるわけなんです。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長どうぞ。

○飯高謙一企画政策課長 令和6年度で127人、今年度は152人という状況になっています。

○黒須俊隆委員 152人で219件。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○飯高謙一企画政策課長 そのとおりです。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 令和6年度が152人で219件。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○久保 崇企画政策課副課長 219件に対して127人です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 127人ということは、定期というのは6か月以上の定期は普通はないですね。よく分からないけれども、バスの定期は私は全然詳しくないので、電車だと1か月、3か月、6か月ですね。だから、127人で219件というのは何か少くないですか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○齋藤友康企画政策課主査兼政策推進班長 こちらの定期の精算が上期と下期で2期に分かれて精算をしておりますので、それを延べ件数というのが219件になりますので、およそ2倍ぐらいと考えてもらうと自然な数字かなと思います

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 了解しました。

大体、半期ごとで数少ない何人かの人が上期か下期だけという人がいるということで、おむね2回請求するということですね。分かりました。

利用者の増加傾向にある理由みたいなものは、担当課として特には思い当たるところは全くないですか、徐々に周知してきたというそれだけなんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長どうぞ。

○飯高謙一企画政策課長 こちらにつきましては、今まで送り迎えしていた人がバスの定期のほうに切り替わってきた、車で送り迎えというふうに判断しております。

結構学生の中で保護者のほうで口コミで広まっているようなので、誰々さん、子どもの同級生から聞いてきたというのを窓口で聞いたりとかはしております。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 了解しました。

8 ページのコミュニティバスなんですけれども、燃料費等上がって増穂地区も白里地区も、あと新規の分は当然ですけれども、増額になっているという、そういう説明だったと思うんですが、実際の利用者は増穂、白里、あと新規の瑞穂の予定みたいなものはどんなふうになっていますか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長どうぞ。

○飯高謙一企画政策課長 増穂、白里も今のところ増えている状況で、増穂地区につきましては、1 月末時点で1 便当たりの平均利用者数が9.2人、白里地区につきましては2.1人という状況になっております。瑞穂地区につきましては、来年度人口等を加味した中で白里地区の1.1倍程度を見込んでおります。

○久保 崇企画政策課副課長 見込みでは、人数にしますと瑞穂地区が3,309人です。年間の来年度の見込み件数が。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 便数もそれぞれ違うわけで、みずほ台について新規だからもうちょっと詳しく、1 日何便で年間何便で3,309人になるのか、お願いします。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○齋藤友康企画政策課主査兼政策推進班長 1 日の便数につきましては1 日7 便になります。運行につきましては毎日運行になりますので、365日という形になります。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 これは7 掛ける365で割ると2.2とか2.3とかになるわけ。2.3とかになるの。

それぞれ増穂と白里と瑞穂で一般会計から一般財源で出すのはそれぞれ幾らなんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○齋藤友康企画政策課主査兼政策推進班長 まず、運行経費から運賃収入、また広告収入等ありますので、そういったものを引いたもの、実際に赤字になっている部分がプラス国からの補助金です。フィーダー補助金というのがありますので、国から運行に対する補助金の一部出ます。そこを引いた赤字になる部分が年間で令和8年度4,400万円程度見込んでおります。そのうちの8割が国の特別交付税で措置をされますので、3地区合わせた実質の市の一般会計の負担額が885万程度を想定しております。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 さっきの3,309人で7掛ける365で割ると1.295となるんですが、さっき白里の1.1倍とかとよく分からない説明がありましたよね。全く違うでたらめというか、違う数字なので、どういうことなんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○飯高謙一企画政策課長 これについては確認してお答えさせていただきます。

今料金算定のことを勘違いして、料金算定のほうは、はまバスの実績に1.1掛ける1.7で算定したものですから、乗車の見込みとちょっと間違った答弁になってしまいました。すみませんでした。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 365掛ける7便というのは間違いないんですよね。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○齋藤友康企画政策課主査兼政策推進班長 そこは間違いありません。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 365掛ける7で年間2,555便で年間3,309人というのも合っているんですか。

全く違う数字を出されちゃうと何のために予算委員会をやっているか分からなくなっちゃうから、次にいきます。

11ページ、結婚新生活支援事業補助金というのがこれが691のうち600万が結婚、移住が60万、関係人口が31万2,000円と、そんなように書いてあるんですけども、一番圧倒的に多いのが結婚なんですけれども、これは何件分というか、何組分で一応算定しているのか、あと関係人口創出事業補助金というのは、これはあぐりえこんか何かの関係ですか、関係人口創出事業補助金については詳しく説明をお願いします。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。どうぞ。

○飯高謙一企画政策課長 結婚新生活支援事業につきましては、年齢で補助額が変わってきます

して、29歳以下が1件当たり60万円、限度額になっております。こちらが6件見込んでおりまして360万円、次に39歳以下が限度額が30万円で8件を見込んでおりまして240万円で合わせて600万円となっております。

あとは学生のほうのものにつきましては、あぐりえこんで予算額31万2,000円ということで、こちらについては……。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○久保 崇企画政策課副課長 関係人口創出事業補助金ですが、こちらのほうは関係人口の創出や本市の新たな担い手の育成という観点から、東大あぐりえこんに所属する市外在住の学生が行うまちづくり活動に必要となる費用を補助するものでございます。

具体的な活動内容としましては、市内外から若者がまちづくりに参画できる機会や場を提供するため、東大あぐりえこんが運営主体となるまちづくりプラットフォームを設置し、世代や属性を超えて参加できるまちの未来を考える場、地域を盛り上げるための活動やアイデアなどについて考える場を構築してまいりたいと考えております。

また、当該プラットフォームを通じて本市の未来の担い手となる若者世代の育成を図るとともに、プラットフォーム内で行われるワークショップや寺子屋などのイベントを通じて市内の小・中高生にも学校や家庭では得難い学びの場を提供してまいりたいと考えております。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 昨年の委員会の中で、財政課長が夏季休暇によるサークル活動の何とかという、そんなものだろうということを言っていましたけれども、併せて一般質問の中では商工観光課長のほうから直ちに採用することはないと、そういう成果がなかったとは言わなけれども、直ちに採用するような成果がなかったと、そういうような正確に申し上げればそういう感じのことだったわけですけども、これはあえてまた学生の夏季休暇などのサークル活動になってしまうか、なってしまうかは分かりませんが、市長自ら今日冒頭の挨拶にも入れていたり、額は少ないなりに目玉事業みたいな感じで市長から言われていた推しの理由は何なのか、ぜひ担当課からお答えいただきたいと思います。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○久保 崇企画政策課副課長 まず、今年度行いました地域共創プランコンテストのその後につきましては、今年度を実施したプランコンテストで提案されたプランの実装に向け、現在も学生を中心に農業体験イベントの試験的な実施案を企画しているところでござい

て、こちらのほうは市内の事業者様ですとか農家様と協力して、企画がまとまり次第、今後また事業のほうを実施していきたいと考えております。ですので、一応今年度やった事業につきましても、きちんと実行のプランまで考えていくということを考えておりますので、決して無駄にはなっていないということで申し上げさせていただきます。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 学生にもピンからキリまでいるから、どういうことになるか分からないけれども、あまり期待しないで見守ろうと思いますが、次のページの12ページなのですが、道の駅整備検討事業、今年は検討委員会、今後あと何回やって、昨年度みたいに何らかの答申みたいな何かそういうものは出るのか出ないかお答えください。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○飯高謙一企画政策課長 令和8年度は一応4回を見込んでおりまして、答申についてはそこまでの話、検討までいくかどうかというのはまだ不明確なところでございます。

今後につきましては、現在今月中に可能性調査のほうが終わりました段階でこちらの報告書が出来上がってきた段階で県のほうにも協議と、また検討委員会のほうにもこの資料を出して説明した中で、今後についてはいろいろ伺っていきたいと考えております。

以上になります。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 最後ですけれども、13ページ、先ほど来他の委員から質問がありましたが、工業団地を整備する可能性まで含めて調査するという形で、候補地を選定して1か所に絞って調査すると、先ほどそういうお話だったと思うんですけれども、候補地を選定し1か所に絞るまでの全ての業務を発注するのか、候補地を選定して1か所に絞るのは企画政策課がかなり深く関わって1か所に絞るのか、どちらなのでしょう。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○飯高謙一企画政策課長 候補地の選定につきましては、委託ではなく自前のほうで検討していきたいと考えております。その中で候補地について可能性があるかどうかということで委託をかける予定でおります。

以上になります。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 候補地を選定するまでは自前でやるという話で、そこが工業団地を整備する可能性みたいなものを調査するのに1,000万以上、1,200万近くかかるというのは、本市の

コンサルとしても結構高いわけなんじゃないのかなと思うんですけれども、これはそういう何か特別にお金のかかる、そういう調査があるんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○久保 崇企画政策課副課長 こちらにつきましては、まず調査内容の中に産業用地の整備の検討に必要な各種計画図の作成、また概算事業費の算出、あとは延長単価に基づく事業採算性の検証ですとか、あとは産業用地整備による建設設備投資、生産雇用創出効果の推計、総合的な経済効果の検証など、今後市が産業用地を整備する場合のある程度の概要をまとめた上で、それを企業の方にヒアリングしたりして可能性があるかと聞くものになっていまして、そのようなことで事業費がかかっているというふうに認識しております。

ただ、こちらのほうも実際に発注した段階で必ずこの金額になるかということではなく、発注したらほかの市町村を見ていると、こちらの金額よりも下がっているので、発注した段階で各企業競争してまた金額のほう下がっていくかとは認識しております。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 全体規模だとか、そういうものもある程度それは企画課である程度決めていくんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○久保 崇企画政策課副課長 そちらのほうは市役所だけでは企業の需要ですとか、そういったものも分かりませんので、そういったところも含めて助言ですとか情報などを仕入れるためにも、こういった外部委託をして専門の業者と一緒に事業を進めていきたいと考えております。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにございますか。

猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 私からはふるさと納税、5ページですか、こちらはふるさと応援寄附金促進費となっていますが、これには企業版ふるさと納税についての促進費みたいなものは入っているのでしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○漆島佳太郎企画政策課主査 こちらのほうは、企業版ふるさと納税の委託料のほうも含まれております。

○委員長（小金井 勉委員長） 猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 企業版のほうも力を入れていただければと思うので、よろ

しく願います。

それと、企業版ふるさと納税の件でこれは11ページなんですけれども、結婚新生活とかのところですが、財源のところに企業版ふるさと納税基金繰入金とあるんですが、これは企業版を入れる何か理由があるのでしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○飯高謙一企画政策課長 こちらにつきましては、令和7年度に企業版ふるさと納税でいただきまして、こちらについては学生の活動に使ってくれということにいただいていますので、もう使途が決まっていますので、こちらについては一度基金のほうに繰入れさせていただいて、それを令和8年度に使うということで、これが31万2,000円ということになります。

以上になります。

○委員長（小金井 勉委員長） 猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 東大めぐりえこんのやつですね。分かりました。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○久保 崇企画政策課副課長 先ほど黒須委員からのご質問で瑞穂地区のコミュニティバスの利用者数の見込みということで、私が3,309人と申し上げたのが誤りでして、もう一度説明のほうをさせていただきます。

まず、瑞穂地区のコミュニティバスの利用者数の見込みですが、こちらのほうは白里地区コミュニティバス利用実績、令和6年4月から令和7年3月までの実績が3,230人になるということで、こちらのほうに瑞穂地区と白里地区の高齢者人口比と両路線の各系統の年間の運行便数の便数比を掛けた数値を瑞穂地区のコミュニティバスの利用者数見込みとさせていただきます。

実際に瑞穂地区と白里地区の高齢者人口が瑞穂地区が3,309人、白里地区が2,919人で人口比が約1.1倍、1.13倍となります。また、各系統の年間の運行便数が瑞穂コミバスのほうが7便掛ける365日で2,555便、白里コミバスのほうが6便掛ける243日で1,458便、便数比にしますと約1.75倍となります。こちらのほうを先ほど出しました白里地区の利用実績……。

先ほどの白里地区の利用実績が3,230人で、これに1.13倍掛けまして、さらに1.75倍、便数比を掛けますと年間利用者数が6,387人というふうに見込んでおります。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 便数1.7倍というのは、便数増えたら利用者が増えるというふうには思わな

いですがけれども、便数増えた分だけで逆に1便当たりの乗る人は減るんじゃないかなというふうに私は思うんですが、便数増えたら便利になるから乗る人が増えたと、そういうことなんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○齋藤友康企画政策課主査兼政策推進班長 1日の便数というよりは、白里は土日は走っておりませんので、土日が増えて7日間やるということが非常に大きいかなというふうに考えております。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 結構です。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにないですか。

輪島委員。

○輪島美津江委員 11ページの結婚新生活支援事業の補助金なんですけれども、これは39歳以下までが補助金を出せるということで、今高齢化じゃないんですけれども、結婚する人が39歳以下というのは、とても今は晩婚というか、そういう感じがするので。どういう。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。どうぞ。

○飯高謙一企画政策課長 これは財源の内訳を見てもらうと分かりますように、県の補助対象事業になっておりまして、この補助の要件というのが県内全部やっているんですけれども、同じような条件なので、市といたしましても若い世代に来てもらいたいと、子育て世代に来てもらいたいというのがありますが、こちらについては手厚くということで考えておりまして、この補助金になっております。

以上になります。

○委員長（小金井 勉委員長） よろしいですか。

○輪島美津江委員 はい。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにございますか。

北田委員。

○北田宏彦委員 ふるさと応援寄附金について、本市の稼ぎ頭として非常に頑張っていると思います。

そういう中で、今現在の返礼品だとか、ポータルサイトをいろいろ増やしたりだとか、いろいろな工夫をこれまでされてきたと思うんですが、そのへんと併せて今後返礼品の開発であるとか、そのへんの予算が盛られてないのかなと思うので、そのへんいかがお考

えなのかをお願いします。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。どうぞ。

○飯高謙一企画政策課長 今実際登録サイトですけれども、ポータルサイトの数は10サイト、ほかにポータルサイトと提携するサイトのほうが12サイト、提携されているのが12サイトありまして、合計で22ポータルサイトがあります。返礼品の数につきましては、現在返礼品は701件ございまして、徐々に増やしていつている状況になっています。

あわせて、米以外にも事業者のほうに伺いまして、うちのほうで海産品ですと訳あり品だとか新たにできないとか、そういう相談だとか、あとは定期的にというか、今月もやるんですけれども、現在登録していただいている返礼品の提供事業者につきましては、意見交換会的なものを開催する予定でおりまして、こちらについてはこういうふうな傾向があるよということで、どのような商品がいいのかというのは話しております。

また、予算についての提供品とか返礼品の開発につきましては、あくまでも企画政策課のほうは返礼品となるような特産品があった場合に登録を促す課でございまして、直接農家のほうでこういうのをつくってくれたとかというふうな形では行っておりませんで、そのへんはほかの課と連携しながら、特産品の開発についても全庁的に取組できればというふうに考えております。

以上になります。

○委員長（小金井 勉委員長） 北田委員。

○北田宏彦委員 いずれにしろ頑張って稼いでください。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小金井 勉委員長） 企画政策課の皆様ご苦労さまでした。退席していただいて結構でございます。

（企画政策課 退室）

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、企画政策課に関する予算の内容について取りまとめに入りたいと思いますが、昨年の指摘事項を副委員長、読み上げてください。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 令和7年、企画政策課、①道の駅整備検討については専門的な知見を含め幅広く丁寧に意見を聴取するとともに慎重に取り組まれない。②市内全域の交通不便地域の解消策を検討、研究されたい。③自主財源確保のため積極的な企業誘致を推進されたい。④新たな返礼品の追加などふるさと納税を推進し、財源確保に引き続き

努められたい。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、皆様からご意見等ございますか。

例年同じですけれども、何か付け加えたいことでもあれば。

北田委員、どうぞ。

○北田宏彦委員 昨年の②、③とかを見ますと、今回の施策の中に瑞穂地区のコミュニティバスの運行を始めるということで一部進捗が見られているのかなと思います。3番についても何か企業立地のどうのこうのという予算をつけたようですので、これも一部少し進捗が、進めてくれているように見えますので、そのへん上手に正副委員長でまとめていただければと。

○委員長（小金井 勉委員長） さらなるという言葉という中身をつければ、またそこに。ほかいかがでしょう。

どうですか、よろしいでしょうか。

（「結構です」と呼ぶ者あり）

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、以上で企画政策課の審査を終了といたします。

次に、安全対策課を入室させてください。

（安全対策課 入室）

○委員長（小金井 勉委員長） 安全対策課の皆様ご苦労さまでございます。

ただいまから令和8年度予算について審査を行います。

時間の関係もありますので、説明は簡潔明瞭にお願いいたします。

なお、説明、答弁の際は挙手の上、委員長に許可を求めてから発言してください。発言は座ったまま行っていただいて結構です。速やかに答弁が得られない場合は次に進めてまいります。早急に答弁ができる形を取っていただくことをお願いいたします。また、本日も必ずマイクの使用をお願いします。

はじめに職員の紹介をしていただき続けて説明を開始してください。

それでは、よろしくお願いいたします。

○石井一正安全対策課長 安全対策課です。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の出席職員を紹介させていただきます。

はじめに私の右隣です。菊池副課長です。

○菊池有輔安全対策課副課長 菊池です。よろしくお願いします。

○石井一正安全対策課長 次に、私の左隣になります。生活安全班長の石橋主査です。

○石橋恭子安全対策課主査兼生活安全班長 石橋です。よろしくお願いいたします。

○石井一正安全対策課長 その隣が消防防災班長の内山主査です。

○内山博史安全対策課主査兼消防防災班長 内山です。よろしくお願いいたします。

○石井一正安全対策課長 最後に私、安全対策課長の石井です。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、令和8年度の安全対策課所管の当初予算の内容につきましてお手元の説明書に基づきご説明いたします。

着座にて説明させていただきます。

それでは、大変恐縮なんですけれども、まず恐れ入りますけれども、資料の記載内容の一部訂正がございます。

6ページになります。

駐輪場事業の歳出ですけれども、一番右側の欄です。内容説明の上から4段目、修繕料のところなんですけれども、そこで別の事業の説明が記載されておりますので、削除をお願いいたします。4番目が全部削除になります。

もう一か所ございまして、次の7ページです。

7ページの防犯事業のところなんですけれども、そこも上から4段目の修繕料のところの内容が同じ項目が入っておりますので、削除をお願いいたします。

削除後の内容説明につきましては、各事業の際に説明させていただきたいと思いますので、お手数ですけれども、よろしくお願いいたします。

申し訳ございませんでした。

それでは、説明資料の1ページから説明をさせていただきたいと思いますので、1ページの総括表をご覧ください。

安全対策課で所掌しております歳入及び歳出の予算額を申し上げます。

歳入予算の合計額は3,341万6,000円で、令和7年度予算額と比較いたしますと6,065万8,000円、64.5パーセントの減額となっております。

歳入予算額が減額となっております主な要因といたしましては、津波避難対策である津波避難タワー整備事業に関する社会資本整備総合交付金の減額に伴うものでございます。

次に、2ページをご覧ください。

歳出の予算ですけれども、合計額は8億9,691万7,000円で令和7年度予算額と比較いたし

ますと 1 億2,606万2,000円、12.3パーセントの減額となっております。歳出予算額が減額となっております主な要因といたしましては、歳入と同様となりますが、災害対策事業の津波避難タワー整備事業の減額に伴うものでございます。

なお、津波避難タワー整備事業は令和8年度に繰越しを行っており、令和8年度、来年の令和9年1月の完成を目指しております。

次に、令和8年度の主要な事業についてご説明させていただきます。

説明資料の5ページをご覧ください。

安全対策事業でございます。

警察署、交通安全協会等と連携し、交通事故防止に向けた交通安全指導及び啓発等を実施してまいります。交通安全啓発品、注意喚起の看板購入や東金交通安全協会大網白里支部への補助金、自転車乗車用ヘルメット購入費補助金等を事業全体で145万1,000円を計上しております。

次に、説明資料の6ページをご覧ください。

駐輪場事業でございます。

駅周辺の良好な駐輪秩序を確立し、駅等の利用者が安心して安全に利用できるよう市営駐輪場の運営、維持管理に努めてまいります。駐輪場管理業務委託料等、事業全体で1,815万2,000円を計上しております。

なお、先ほど訂正していただきました内訳の4段目のところですけれども、修繕料の内容の説明欄ですけれども、大網駅及び永田駅前駐輪場の修繕用の費用として10万円、大網駅前第一駐輪場のさび止め補修の修繕料として11万円となっております。ご記入をお願いいたします。

次に、説明資料の7ページをご覧ください。

防犯事業でございます。

犯罪の起こりにくい環境づくりを目的に防犯組合等と連携し、防犯活動の実施、啓発に努めてまいります。自主防犯団体への活動支援のための防犯物品の購入や市防犯組合への運営費補助金、区自治会への一般防犯灯電気料金補助金、電話d e詐欺対策機器事業補助金、防犯カメラ設置工事、公共防犯灯設置工事、犯罪被害者見舞金等、事業全体で1,102万6,000円を計上しております。

こちらのほうもお手数ですけれども、先ほど削除いただきました欄ですけれども、そこには公共防犯灯の修繕料といたしまして17万9,000円をお願いいたします。それと、防犯パト

ロールカー12か月点検費用として1万5,000円の項目となります。申し訳ございません。よろしく願いいたします。

次に、説明資料の8ページをご覧ください。

常備消防費でございます。

山武郡市広域行政組合で共同処理している常備消防に係る費用を構成団体である大網白里市、東金市、山武市、九十九里町、芝山町の3市2町で負担しているものです。消防職員の人件費、消防署庁舎等の維持管理費や救急車、消防車などの車両整備に係る消防施設費の負担金として、本市におきましては7億4,920万9,000円を負担金として計上しております。

次に、説明資料9ページをご覧ください。

消防関係事務費でございますが、消防関係に係る事務経費等を計上しており事業全体で35万1,000円を計上しております。

次に、説明資料の10ページをご覧ください。

消防団活動費でございますが、地域防災の中核的担い手である市消防団の団員報酬、各種手当、消防車両の維持管理費、消防団活動服の購入等を計上し、地域防災力の充実強化に努めてまいります。事業全体で3,942万7,000円を計上しております。

次に、説明資料11ページをご覧ください。

消防車両整備事業でございますが、消防防災力の維持、向上を図る上で計画的に老朽化した消防車両の更新が必要なため、令和8年度は消防ポンプ自動車1台分の購入費として3,007万7,000円を計上しております。

なお、購入に係る補助金として、県支出金492万2,000円を見込んでおります。

次に、説明資料13ページをご覧ください。

消防施設整備事業でございますが、消防団活動に必要な資機材や消防用ホースの購入や掘り抜き井戸の修繕を行う事業として、事業全体で361万6,000円を計上しております。

なお、消防機庫の建て替えにつきましては、今後消防団において機構改革を計画していることから、計画が決定されるまで見送ることとしております。

次に、説明資料14ページをご覧ください。

消防施設管理費でございますが、消防機庫等の敷地借上料や保険料、消火栓修理として事業全体で541万9,000円を計上しております。

次に、説明資料15ページをご覧ください。

防災行政無線事業でございます。

災害発生時等の重要な情報伝達手段である防災行政無線やメール配信システム等の維持管理としての保守業務や防災行政無線非常用バッテリー交換費用として事業全体で675万9,000円を計上しております。

最後に説明資料16ページ、17ページをご覧ください。

災害対策事業でございますが、地震、津波、風水害等の災害への防災・減災対策に努めてまいります。

災害用備蓄品の購入、自主防災組織への支援、津波避難誘導塔の整備等を実施してまいります。令和8年度は7年度に引き続き津波避難タワー整備を進めるほか、新たに千葉県が主導している被災者支援システムを導入するため、協議会の加入及びシステム構築の負担金等を含めまして3,142万9,000円を予算計上しております。

以上が安全対策課の令和8年度の歳入歳出予算の概要でございます。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（小金井 勉委員長） ただいま説明がありました予算の内容について質問等あればお願いいたします。

上代委員。

○上代和利委員 安全対策課の皆様、昨日は避難所運営訓練お疲れさまでございます。連チャンで大変でした。ありがとうございました。

7ページなんですが、防犯カメラなんですが、昨今県の補助金を使いながら防犯カメラを増やしていつているのかなというふうに思うんです。二十何基ついているんですかね。白里なんかも、あれがあったおかげですぐ防げたというようなものもあると思うんですけれども、今年は防犯カメラを増やす計画というのはあるんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○石井一正安全対策課長 近年、年1台ずつ防犯カメラを設置しておりまして、今年度は広域農道と大網街道の交差点、そこに設置をいたしました。

設置に当たりましては、東金警察署等と調整しながら設置していることなんですけれども、一応令和8年度の予定では、私どものほうとしては旧JA増穂支所の入口ですか、運動広場に入るところの交差点、あそこを想定しておりまして、今後警察署とかと協議してまいりたいと思います。基本的には交通事故が多かったり、そういうところになるかなと思っているんですけれども、今の想定はそこを考えております。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 上代委員。

○上代和利委員 引き続きよろしくお願ひしたいと思います。

あともう一点なんです、16ページなんですけれども、16ページに備品購入費、これはさつき市長からの説明もあったと思うんですが、防災備蓄倉庫、白里地区とか何かあったような気がしたんですけども、どういう予定になっているのか教えてください。前から白里にはつくらないとか、何かいろいろなことを言われたような気もして、やっとできて非常にうれしく思っているんですが、どこにできるのでしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。どうぞ。

○石井一正安全対策課長 こちらは北今泉地区津波避難タワーを建設するところに設置することを考えております。これは補助事業を受けていまして、補助事業を受けて1個倉庫を設置するというふうに考えております。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 上代委員。

○上代和利委員 津波避難タワーを建設して、そこに持ってこようということですか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○石井一正安全対策課長 そうです。タワーを整備する敷地内の場所はこれから調整ですけれども、そこに防災倉庫を1基建てると、今の計画では入札した中には防災備蓄倉庫まで入っていませんので、この事業を活用して1基倉庫を設置するということです。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 上代委員。

○上代和利委員 ありがとうございます。

そのような説明もあったと思うので、今年度ひとつよろしくお願ひします。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかに。

金森委員。

○金森浩二委員 13ページになるのかな、先ほど消防機庫の話をされていたと思うんですけども、とある班で地権者とだいぶもめているような班があるのを聞いておりまして、そういったところの対応があまりに長くなっちゃうとまた問題になるんじゃないかなと、おおごとになっちゃうんじゃないかなとちょっと不安になったところがあったので、そのへんも踏まえてどうお考えかなと、お願ひします。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○石井一正安全対策課長 消防機庫を全て市の土地に建てていてはありませんで、個人の土地を借地して建てている場所もあります。その関係で借りている地主さんの方が例えば世代が代わるから、俺の世代だけだったらいいけれどもみたいな話もありまして、すぐに壊してくれよという話ではないんですけども、そういうところもありまして、うちのほうもそういうことなので、ほかの土地を探すとか、お時間をいただいている状況です。

ただ、先ほど申し上げましたとおり、班編成というのも要はなかなか定員が少なくてという班もあるし、そういうところも見込んで、ちょっと今お時間をいただいているところなんですけれども、そういうところを踏まえて、地主の方にはそういう要件があるので、そこは私としては空けて、ご希望に沿った形で基本的には今あるのを撤去してお返しするというようなことをお伝えはしているんですけども、今来年だ、再来年だということまで話されてないんですけども、そのへんはなるべく早いうちにやりたいと思っております。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 金森委員。

○金森浩二委員 そこは安全対策課のほうでフォローしてもらえると、また消防団員たちも何か心苦しい負担があるというのも聞いておりますので、そこもご協力いただけるとありがたいかなと思います。

もう一点なんですけれども、先ほど防犯カメラの話をされていましたが、それは今回この2か所に設置するということで、75万7,000円という費用ということで間違いないでしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○石井一正安全対策課長 1か所になります、1か所の値段なんですね。

広域農道のほうは今年度設置したので、交差点のところについているんですね。今の感じだと年1か所大網街道を上がってきているような感じなんですよ。令和5年度は改善センター、6年、7年度は広域農道、今度は旧JAの入口というところで1基なんですね。そこで75万かかるというようなことです。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにございますか。

北田委員。

○北田宏彦委員 16ページの賃借料、ダイヤモンドマンション津波避難施設賃借料、これは今まで発生してなかったけれども、8年度から発生するんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○石井一正安全対策課長 ダイヤモンドマンションは津波避難ビルに指定させていただいておりまして、その協定を結んでいるところなんですけれども、近年、昨年前の知事あたりがダイヤモンドマンションの管理組合様のほうと協議をさせていただいてまして、ダイヤモンドマンションの2階部分か何かの空いている部屋をうちの備蓄品とか置かせてもらっていたりしているんですけれども、そこで組合のほうから、そういうところを使ってもらうのであれば、そういう賃借料的なものもあってもいいんじゃないかというようなお話をいただいております、うちのほうも今まで無料で借りていたんですけれども、そういった意見もありますし、うちのほうとしてもダイヤモンドマンションのほうは津波避難ビルとして指定をしたいという考えがありますので、協議していく中で今回はダイヤモンドマンション様のほうに施設を借りる賃借料を予算計上しております。

それと、そちらのダイヤモンドマンション様のほうに緊急地震速報システムというのを今回入れます。これは今までは鍵の問題とかもいろいろあったんですね。ダイヤモンドマンションというのは部外者が勝手に入れないようになっていますので、だから避難した人が何かあったときに避難していくときに自動扉が開かないということになっちゃいますので、それを開けていただいていたんですけれども、なかなかそういったところも人がいる、いないとかという状況もあったので、今回震度を感じたとき、あるいはJアラートと連携して自動的に自動扉を解除するというシステムをこちらのダイヤモンドマンション様のほうに入れます。その利用料としても含んだ金額となっております。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかに。

黒須委員。

○黒須俊隆委員 6ページの駐輪場事業ですが、収入は1,911万2,000円と比較的大体似たような形で推移していて、これから人口減に伴って利用者がどんどん減るという、そういう見通しだったと思うんですが、これは見通しが変わってきているのかどうかお答えください。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○石井一正安全対策課長 特に増えるというイメージは持っておりません。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 1,815万2,000円というこの駐輪場事業には、永田駅の駐輪場の管理だとか、あとは放置自転車の撤去、輸送だとか、そういう都市環境美化みたいな、そういうものも入っていたり、いろいろなものが入っている中でのもので、実際駐輪場を利用する人たちの負担というのが大幅に大きいというふうに毎回言っているわけですがけれども、特に学生とかを低く実際にしている中で、実際のサラリーマンの1人当たりの支払料というのはかなり大きな値段、要は受益者負担ではないと、市のそういう事業の負担を実際にサラリーマンがしている。そういうことになるというふうにいつも私は思うんですけれども、学生の料金を無料にしろとか、あとは3階を無料にして1階を高くしろとか、いろいろな提案を私はこれまでしてきたと思うんですけれども、意外と料金が減らないこととかも踏まえて、料金体系をまた改めて見直したらどうかということと、あとキャッシュレスを今回導入するという話なんですけれども、キャッシュレスをやること自体別に反対しませんけれども、取りあえず1回借りる値段を120円を100円にするとか、そういうこともあるんじゃないか、料金体系の見直しを低くするというのでそろそろまた考えてもいいんじゃないかというふうに思うんですが、いかがでしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○石井一正安全対策課長 料金低減については、今現時点では私のほうでは考えておりません。以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 ぜひ今後見直していただきたいと思うんですが、あと防犯事業と6、7とセットなんですけれども、防犯カメラが駐輪場には8台ですか、相当な台数があると思うんですけれども、昨年度から例えば自転車泥棒、盗難件数ということでどんなふうにこの間推移しているんですか、大体でいいんですけれども、防犯カメラの効果というのがあるのかどうかお尋ねしたいと思います。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○石井一正安全対策課長 盗難された台数までちょっと把握してないんですけれども、警察に届け出る、届け出ないとかとあると思うんですけれども、駐輪場で盗難された自転車が仮にあった場合に、その方が盗難届を警察に出す場合には、今、黒須委員がおっしゃったように駐輪場に防犯カメラが設置されておりますので、警察から防犯カメラの映像の提供要請、捜査要請がありまして、そちらの日とか時間とかという指定の部分の映像データは提

供して捜査のほうに協力している状況でございます。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 警察から例えば私の知り合いとか家族とかも盗まれても、何のなしのつづてで何の連絡もなく、盗難届を出して、それでも全く連絡もないので、おそらく交番の方の話だと、警察の方の話だとまず見つからないよみたいな、そういう話だったわけで、実際私の家族などはそういう状況なんだけれども、防犯カメラの映像というのは警察には勝手に提供するわけですから、被害者に対して被害者が見せてくれと情報公開請求したら見せてくれるんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○石井一正安全対策課長 私の経験上ではそういう要請がないので、今何ともお答えが難しいところなんですけれども、もしほかの個人のプライバシーに侵害がないのであれば、その方だけであれば見せることは可能かなと思っています。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 あと防犯事業の中で犯罪被害者等見舞金なんていうのがあるんですけれども、防犯カメラで駐輪場で自転車盗難があつて見つからないのだったら、盗難保険みたいなものをそれぞれみんな自転車盗難保険入れというのが一応決まりなんだけれども、古い自転車だと、あれは8年とか何かで盗難保険は終わりですよ。盗難されて見つからなかったらこれは駐輪場として管理が行き届かないんだという考え方もあるわけで、盗難車に一律見舞金5,000円渡すとか、そういうことは考えないですか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○石井一正安全対策課長 今現在では考えておりません。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 防犯がどこまで効果があるのかということは、ぜひ今後検証していただきたいというふうに思います。

次に、11ページなんですけれども、消防車を3,000万ぐらいのを買うと500万くらい県支出金が出ると、2,500万くらいが事業債になると、その後、事業債に対しては何らかの交付税措置はあるんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○内山博史安全対策課主査兼消防防災班長 こちらの消防車両整備事業債につきましては緊急防災事業ということで、後々交付税措置があるものというふうに伺っております。

事業に充当できる金額が90パーセント、さらに70パーセントが交付税として市のほうに後々交付税算定されるというふうに伺っております。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 かなりの部分が増えるということで、消防車は高いな、高いないつも思っているけれども、もちろん全部税金は税金だけれども、市税からそんなに出ているわけじゃないと、そういうことが分かって、それなりに古い消防車を新しくする必要はあるんだなということもよく分かりました。

15ページなんですけれども、いろいろ避難訓練だとか、そういう防災事業の話があったんですけれども、15ページじゃないかもしれないです。内容は違うかもしれないんですけれども、津波避難に関連して津波のJアラートでいうと陸閘がすぐ閉まってしまうという、そういう中で津波避難計画の改定みたいなものを陸閘を条件に入れた、そういう避難計画みたいなものの改定みたいなものを考えていないのか、またそのための調査とか何かをするつもりがないのか、今回の予算とかには入っていないのかお尋ねしたいと思います。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○石井一正安全対策課長 今の状況では改定は行っておりません。また、今の計画の中にもそういうJアラート関係の陸閘のやつは入っていないのが現状でございます。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 道の駅も今のところはその計画が最有力で進んでいるわけで、これは陸閘と避難の関係というものは担当課として相当進めるというか、調査、研究する必要があるんじゃないかというふうに思います。

最後なんですけれども、16ページの災害対策なんですけれども、7節で講師謝礼25万円とあるんですが、これは何の講師謝礼ですか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○内山博史安全対策課主査兼消防防災班長 こちらの講師謝礼につきましては、避難所運営訓練ですとか、そういう訓練を行った場合に訓練を行っていただく講師への謝礼の額になっ

ておりますが、これまでは委託料に載せていたもので、これを謝礼に当たりますので、報償費のほうへ節を変えたものになります。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 同じページで築山除草処分業務144万3,000円とあるんですけども、今回つくろうとしている今泉のタワーとか、もう既にある最初の第1公園のタワーとかの分は、これは課内とかで庁内でやっているということで入っていないんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○石井一正安全対策課長 そのとおりでございます。1号のタワーは職員が草刈りを行っております。今度つくるタワーもその予定です。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 今度やるタワーの余っている土地も安全対策課がやるんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○石井一正安全対策課長 去年は建ってなかった更地の畑だったんですけども、それはうちのほうで数回草刈りをしておりますので、半分整備される予定ですので、もう残り半分は整備されるまで畑の状態になりますので、そこは草刈りを職員がやると、そういうことでございます。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 今回の144万3,000円というのは何回分なんですか。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○石井一正安全対策課長 3回分になります。築山は山なので、斜面が結構大変でして危険を伴うので、こちらのほうは委託をしております。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 前は1回分でそのほか職員がやった分をごみの撤去だけ、草の撤去だけ業者に頼んで、そんな話だったんじゃないかと思うんですけども、3回分ちゃんと専門の業者に頼むということになったのは、大変危険防止の面からもよかったと思います。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかに。

猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 四点ほどあるんですが、まず一点、5ページ、交通安全の事業についてなんですけれども、これは交通安全啓発としてどんなようなことを行うのか教えてください。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○石橋恭子安全対策課主査兼生活安全班長 来年度は交通安全、来年8年の4月から法の改正がありまして、自転車の乗車に関しましても青色切符が切られるようになりますので、そういったことに関する周知のチラシの作成ですとか、あと来年度予定をしております事業がありまして、県のほうの事業に同調させていただく形で、高齢者の交通安全のシルバーリーダーの研修というものを予定しております、そちらのほうの経費であったりとか、そういったものにも使わせていただこうと思っております。

消耗品のほうは、あとは皆さんからご要望いただいた道路のほうの危険な箇所への注意喚起の看板を設置させていただいたりというところを予算にさせていただいております。

○委員長（小金井 勉委員長） 猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 信号をつけてほしいところもまだついていませんので、ぜひ交通安全啓発のほうをよろしくをお願いします。

続きまして、13番、これはお尋ねしたいんですけれども、消防施設整備事業のところ工事のところに運動広場の電灯工事と入っているんですが、これは消防と何か関係はするのでしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○内山博史安全対策課主査兼消防防災班長 運動広場の電灯工事につきましては、こちらは今隔年で実施しております操法ポンプの大会に向けての夜間練習に必要な工事になっておりまして、これから今後消防本部とは実際にポンプ操法大会を実施するのか検討をしていくこととなりますが、現時点では予算計上させていただいているものになります。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） これは夜間練習じゃないときには使わないような電灯という感じなんですね。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○内山博史安全対策課主査兼消防防災班長 そのとおりです。

○委員長（小金井 勉委員長） 猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） ありがとうございます。

続いて15ページ、行政無線のところなんですけれども、Jアラートの自動起動機のソフトウェア改修が入っているんですけれども、Jアラートは国からのものではないのでしょうか、市で持たないといけないものなのでしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○内山博史安全対策課主査兼消防防災班長 これは国がメインで実施しているところなんですけれども、それに合うハードウェアとソフトウェアは各市町村で整備することとされておりまして、今年度ハードウェアのほうを改修いたしまして、令和8年度にソフトウェアを改修するという事で消防庁のほうから伺っているところでございます。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 分かりました。

あと16ページ、災害対策事業のところで、工事請負費のところに防災井戸の手押しポンプ工事というのが129万8,000円があるんですが、これはどこの防災井戸になるのでしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○内山博史安全対策課主査兼消防防災班長 こちらの防災用井戸の場所につきましては、令和8年度は瑞穂小学校、増穂小学校、それから大網中学校の3か所を現段階では予定しているところでございます。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 多分ほかもあると思うんですけれども、これは順次3つつぐらいやるような感じなのでしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○内山博史安全対策課主査兼消防防災班長 こちらのポンプにつきましては、各公共施設についておりますが、県の補助金等の関係もありますので、一気に全部行うことは難しいことから毎年3か所ずつ整備をしているところでございます。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） ありがとうございます。よろしくお願いします。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかに。

北田委員。

○北田宏彦委員 10ページの負担金補助及び交付金なんだけれども、公務災害等各種負担金と
なっているんだけど、団員の定数はここにおいても既に8年の4月1日で少なくする
と思うんだけど、逆に昨年が1,296万9,000円、今年1,300万9,000円となっているんだ
けれども、分担金の減にならないと、このへんの根拠を教えてください。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○石井一正安全対策課長 こちらの負担金の算出の根拠の数字が毎年10月1日現在の団員数
になります。ですので、今回最終日にご議決いただければ、その次から影響してくるとい
うふうになっております。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小金井 勉委員長） 安全対策課の皆様ご苦労さまでました。退席していただいて
結構です。

（安全対策課 退室）

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、安全対策課に関する予算の内容について取りまと
めに入りたいと思いますが、昨年の指摘事項を副委員長、読み上げてください。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 令和7年度、安全対策課、①津波避難施設建設については
整備費用の精査を図られたい。②消防団員の確保及び自主防災組織の連携強化を図られたい。
③災害時の情報の集約、発信についてはSNSなどの活用も含め取り組まれたい。④
大網駅前駐輪場の管理運営については利便性向上に努められたい。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、皆様意見等ございませんか。

いかがでしょうか。

上代委員。

○上代和利委員 令和7年度の①になっているのは、一応精査されています。だから、苦渋の
判断というか、やっておりますので、これは別に削除して、令和6年の1番というか、常
にこういう防犯、防災というか、必要なことなのかなと思ひまして、市民の安全、安心、

こういう文言でなくてもいいと思うんですが、安心、安全の確保のため防災、減災、防犯に図るものでありたいと。

○委員長（小金井 勉委員長） 入れ替えるんですね。

○上代和利委員 いかがでしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長） 分かりました。

ほかにどなたかございますか。

（「正副委員長に上手に取りまとめいただきますよう」と呼ぶ者あり）

○委員長（小金井 勉委員長） 上手に取りまとめをします。

以上で安全対策課の審査を終了いたします。

暫時休憩したいと思いますですが、よろしいでしょうか。

（午後 2時40分）

○委員長（小金井 勉委員長） 再開をいたします。

（午後 2時49分）

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、次に税務課を入室させてください。

（税務課 入室）

○委員長（小金井 勉委員長） 税務課の皆様ご苦労さまです。

ただいまから令和8年度予算について審査を行います。

時間の関係もありますので、説明は簡潔明瞭にお願いいたします。

なお、説明、答弁の際は挙手の上、委員長に許可を求めてから発言してください。発言は座ったまま行っていただいて結構です。速やかに答弁が得られない場合は次に進めてまいります。早急に答弁ができる形を取っていただくことをお願いいたします。また、本日も必ずマイクの使用をお願いします。

はじめに職員の紹介をしていただき、続けて説明を開始してください。

それでは、よろしくをお願いいたします。

○板倉洋和税務課長 税務課です。よろしくお願いします。

まず、職員の紹介をさせていただきます。

私の左手におりますのが市民税班長の石田でございます。

○石田定之税務課主査兼市民税班長 石田です。よろしくお願いします。

○板倉洋和税務課長 その左におりますのが副課長の内山でございます。

○内山貴浩税務課副課長 内山です。よろしくお願いします。

○板倉洋和税務課長 その後ろにおりますのが、資産税班長の松本でございます。

○松本行正税務課主査兼資産税班長 松本です。よろしくお願いします。

○板倉洋和税務課長 私の右手におりますのが滞納整理班長の五十嵐でございます。

○五十嵐 絢税務課主査兼滞納整理班長 五十嵐です。よろしくお願いします。

○板倉洋和税務課長 その隣におりますのが収税班長の神沢でございます。

○神沢秀樹税務課主査兼収税班長 神沢です。よろしくお願いします。

○板倉洋和税務課長 それで、最後に課長を仰せつかっております板倉でございます。よろしくお願ひいたします。

では、着座にて説明させていただきます。失礼いたします。

それでは、令和8年度当初予算について説明申し上げます。

税務課の令和8年度当初予算の概要についてでございますが、はじめに資料の1ページの総括表をご覧くださいと思います。

主な税目についてご説明いたします。

歳入の上から市町村民税、個人でございますが、令和7年度実績を基に給与所得の伸びなどを考慮し1億8,511万円の増、合わせて27億6,629万7,000円を見込んでおります。

次に、市町村民税、法人でございますが、今年度の税額が前年度と比較いたしまして増加傾向にある状況を考慮し2,276万7,000円増の1億5,501万1,000円を見込んでおります。

次に、固定資産税でございますが、新築家屋の増加などによりまして8,270万円の増、合計で20億562万4,000円を見込んでおります。

次に、軽自動車税でございますが、来年度環境性能割が廃止になることを考慮いたしまして213万3,000円減の1億5,388万6,000円を見込んでおります。

次に、市たばこ税でございますが、売渡本数の減少傾向が続いていることから1,341万1,000円減の3億円を見込んでおります。

歳入の合計といたしましては2億146万4,000円増の54億7,063万8,000円を見込んでおります。

次に、歳出でございますが、増減額の大きい市民税等賦課事務費、4行目にあります税務システム運用事業、5行目の資産税賦課徴収費、7行目の収税関係徴収費についてご説明申し上げます。

市町村民税賦課事務費でございますが、4ページをご覧くださいと思います。

一番下にあります18、負担金の中の地方税共同機構でございますが、全国的に導入されている地方税共通納税システムの運営管理を行っている組織で、令和6年度から共通納税システムの対象科目が拡大され取扱手数料に係る負担金が増加しております。

次に、10ページをお開きいただきたいと思います。

税務システム運用事業でございますが、13の使用料及び賃借料について令和7年度中に導入いたしました登記連携システムの使用料を計上したため増額となっております。

次に、12ページをご覧くださいと思います。

資産税賦課徴収費でございますが、11の手数料に3年ごとに行う固定資産の評価替えに係る土地の不動産鑑定を令和7年度に実施したことにより令和8年度は減額となっております。

また、12の委託料の中の固定資産土地評価資料作成については固定資産評価替えに係る業務となっておりますが、3年間の債務負担行為を設定し、各年度で業務内容が異なっておりますので、令和8年度は航空写真の撮影を予定しているため増額となっております。

次に、16ページをご覧くださいと思います。

収税関係徴収費でございますが、地方税共通納税システムの導入に伴い各手数料の減額を見込み予算額も減少しております。

ページをお戻りいただきまして、1ページ目をご覧くださいと思います。

歳出合計といたしまして188万7,000円増の1億1,272万2,000円を計上しております。

そうしましたら、続きまして資料の20ページをご覧くださいと思います。

国民健康保険特別会計の総括表でございます。

歳入の国民健康保険税でございますが、被保険者数が年々減少しておりますけれども、所得の上昇や令和8年度から創設される子ども・子育て支援納付金の税額を見込みまして5,973万9,000円増の10億5,723万8,000円を計上しております。

続きまして、歳出でございますが、賦課事務費、徴収事務費について申し上げます。

22ページをご覧くださいと思います。

賦課事務費でございますが、10の印刷製本費について保険税の納税通知書等の印刷単価の増額によりまして増えてございます。

次に、24ページをご覧くださいと思います。

徴収事務費でございますが、11の通信運搬費について保険税の還付通知や催告書の封筒等の印刷単価の増加によりまして増額となっております。

次に、26、27ページをご覧いただきたいと思います。

保険税還付金（一般）でございますが、令和4年度から令和6年度実績の平均値を基に算出したところ前年度より減額となっております。

また、ちょっとお戻りいただきまして20ページをご覧いただきたいと思います。

歳出の合計といたしましては111万4,000円減の1,361万5,000円を計上しております。

説明は以上となります。

よろしく申し上げます。

○委員長（小金井 勉委員長） ただいま説明がありました予算の内容についてご質問等あればお願いいたします。

黒須委員。

○黒須俊隆委員 16ページと24ページ、市税と国民健康保険税とコンビニ収納代行というのがあるんですけれども、コンビニ収納代行というのは今何件で幾らかかってあるんですか、それで代行手数料というのが幾らなのかお答えください。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○板倉洋和税務課長 コンビニ収納につきましては、1件当たりの手数料が84円、税込みとなります。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 何件くらいなの、何件、幾ら分。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。どうぞ。

○板倉洋和税務課長 それでは、トータルの件数は今手元に……。

件数でございますけれども、合計で6万2,894件になります。

ちなみにですが、令和6年度コンビニで納税いただきました市民税、こちらの合計が1億4,992万円になります。

○委員長（小金井 勉委員長） 黒須委員。

○黒須俊隆委員 すごくコンビニ収納というのは市民に行き渡っているなというふうに率直に感想を持ちまして、担当課がご苦労された結果だと思います。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにどうですか。

猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） まず、16ページ、16ページになるかどうか分からないんで

すけれども、持続可能な財政運営の取組のところで徴収を強化するとあるんですが、具体的に徴収の強化は何を行う予定なのでしょうか。

○委員長（小金井 勉委員長） どうぞ。

○五十嵐 絢税務課主査兼滞納整理班長 徴収の強化ということで、ここ数年取り組んでいることとして滞納者宅への搜索や、あと今年度ですとうちの班の職員を1人県へ研修生として送り出しておりまして、今年度今月いっぱいまで勉強して、この後8年度に帰ってくるんですけれども、どういった研修をしているかといいますと、一番最初に申し上げた搜索のノウハウを年間100件以上とか行って、それで身にしてノウハウを得て帰ってくるという形、彼女が来年度うちの滞納整理班に配属されるはずなので、そうなった場合さらなる徴収強化といったことにつながるのかなというふうに考えております。

一応あとそれ以外にも電子照会というのが予算科目で委託料に入っているんですが、これは預貯金や保険料の契約状況等を電子照会ができる仕組みでして、ここ一、二年でこういった電子照会による差押えが増えておりまして、非常に効率が高まっております。一応こちらでも徴収強化の一環として我々のほうでは推進している状態です。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） ありがとうございます。

徴収強化にしっかり取り組んでいただきたいと思います。

あともう一つ同じところで税収の確保というところで、ページで言ったら4ページ、多様な納付手段の活用、継続というふうにあるんですが、多様な納付手段というのはどんなものがあるのか教えてください。

○委員長（小金井 勉委員長） 課長。

○板倉洋和税務課長 多様な納付手段ということでございますけれども、まず1つ一般的な納付書、そして口座振替、そしてスマートフォンで払えることにした。あとはコンビニでも払えるようになっています。そして、最近始まっているのがQRコード、こちらも使えるようにしてございます。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） 猪崎副委員長。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） ありがとうございます。

引き続きお願いします。

私のほうからは以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小金井 勉委員長） ないようですので、税務課の皆様ご苦労さまでした。退席していただいて結構です。

（税務課 退室）

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、税務課に関する内容について取りまとめに入りたいと思いますが、昨年の指摘事項を副委員長、読み上げてください。

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 税務課、令和7年度、①引き続き市税の収納率向上を図るため人員の強化を含めた対策を講じるとともに適切な滞納管理に努められたい。②引き続き納税相談がしやすい環境整備を図られたい。

以上です。

○委員長（小金井 勉委員長） それでは、皆様ご意見等ございませんか。

（「去年と同じで」と呼ぶ者あり）

○委員長（小金井 勉委員長） 承知をいたしました。

以上で税務課の審査を終了といたします。

◎散会の宣告

○副委員長（猪崎紀人副委員長） 以上、本日の審査はここまでとし、散会とさせていただきます。

10日も午前9時から開始いたしますので、よろしくお願いいたします。

お疲れさまでした。

（午後 3時06分）